

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事
春山高架橋（上り線）

設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

【 図 面 目 録 】

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	春山高架橋（上り線）数量総括表		
2～4	春山高架橋（上り線）橋梁一般図（その１）～（その３）		
5	春山高架橋（上り線）耐震補強一般図（その１）		
6	春山高架橋（上り線）耐震補強一般図（その２）		
7	春山高架橋（上り線）P 7 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
8	春山高架橋（上り線）P 8 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
9	春山高架橋（上り線）P 7 橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図		
10	春山高架橋（上り線）P 8 橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図		
11	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その１）		
12	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その２）		
13	春山高架橋（上り線）A 2 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その１）		
14	春山高架橋（上り線）A 2 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その２）		
15	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 落橋防止構造 C 1－M 1 構造詳細図（その１）		
16	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 落橋防止構造 C 1－M 1 構造詳細図（その２）		
17	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 落橋防止構造 C 1－M 1 構造詳細図（その３）		
18	春山高架橋（上り線）P 7 橋脚 橋座補強工 詳細図		
19	春山高架橋（上り線）P 8 橋脚 橋座補強工 詳細図		
20	春山高架橋（上り線）A 1 橋台 はく落防止対策工 B 1 一般図		
21	春山高架橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員 B 2 配置図		
22	春山高架橋（上り線）通行止め計画図（参考図）		
23～25	春山高架橋（上り線）施工要領図（その１）～（その３）（参考図）		
26	春山高架橋（上り線）配線系統図（参考図）		

項目番号		2-（6）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（11）	1 7-（11）	1 7-（11）	1 7-（11）	1 7-（18）	1 7-（25）
項目名称		構造物掘削	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	耐震補強用コンクリート表面処理工	炭素繊維巻立て下地処理工
		普通部A	コンクリート A 1－5	型わく	鉄筋	アンカー工 φ 2 9 ・ 2 9 5	アンカー工 φ 3 9 ・ 4 4 5	C 1－M 1	鋼製ブラケット	アンカー工 φ 4 5 ・ 5 3 5（水平）	アンカー工 φ 4 5 ・ 5 3 5（上向き）	A	
単位		m 3	m 3	m 2	t	本	本	本	t	本	本	m 2	m 2
春山 高架橋	A 1		2.7	14.0	0.480	84.0		2.0	0.452	12.0	20.0	10.8	
	P 7	75.9											85.2
	P 8	139.7											62.6
	A 2		3.2	14.6	0.756		76.0					10.8	
検測数量		215.6	5.9	28.6	1.236	84.0	76.0	2.0	0.452	12.0	20.0	21.6	147.8

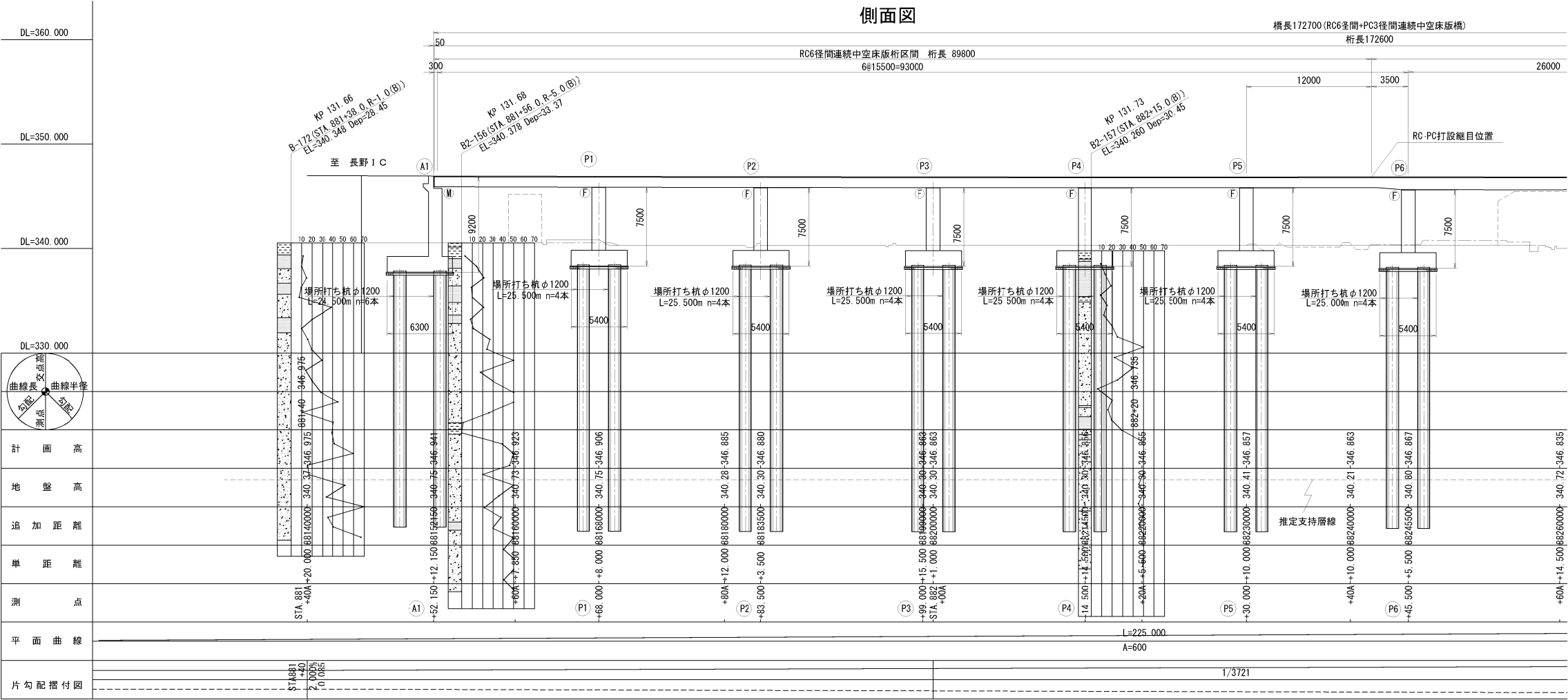
項目番号		1 7-（2 6）	1 7-（2 7）	1 7-（3 0）	1 7-（3 1）	1 9-（2）	特-（1 9）	特-（1 9）	特-（1 9）	特-（1 9）
項目名称		炭素繊維巻立て工	炭素繊維巻立て表面仕上工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	交通保安要員	橋座補強工	橋座補強工	橋座補強工	橋座補強工
		A 1	A		B 1	交通誘導警備員 B 2	D 1 9 ・ 1 4 3 0（水平）	D 1 9 ・ 1 5 6 0（水平）	D 2 5 ・ 1 5 1 0（水平）	D 2 5 ・ 1 6 5 0（水平）
単位		m 2	m 2	m 2	m 2	人・日	本	本	本	本
春山 高架橋	A 1			0.5	0.5					
	P 7	85.2	85.2				4.0	4.0		
	P 8	62.6	62.6						4.0	4.0
	A 2					2.0				
検測数量		147.8	147.8	0.5	0.5	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） 数量総括表		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

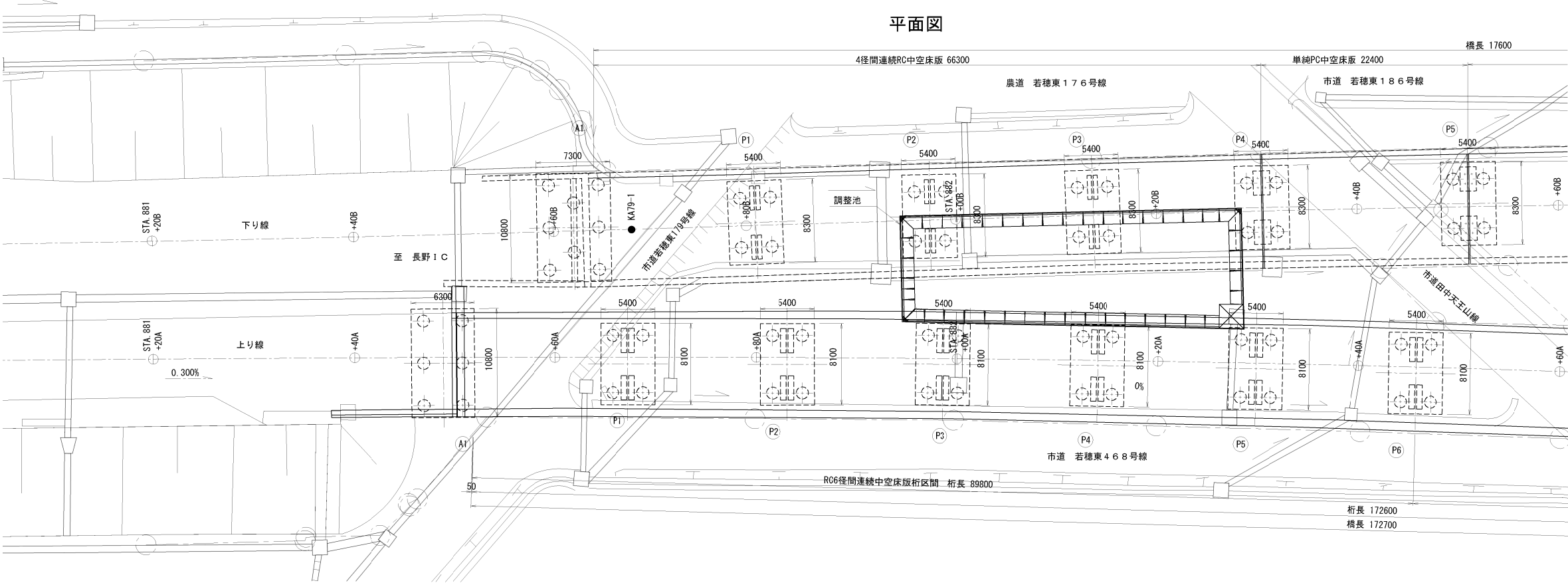
春山高架橋（上り線） 橋梁一般図（その１）

S=1:500

側面図

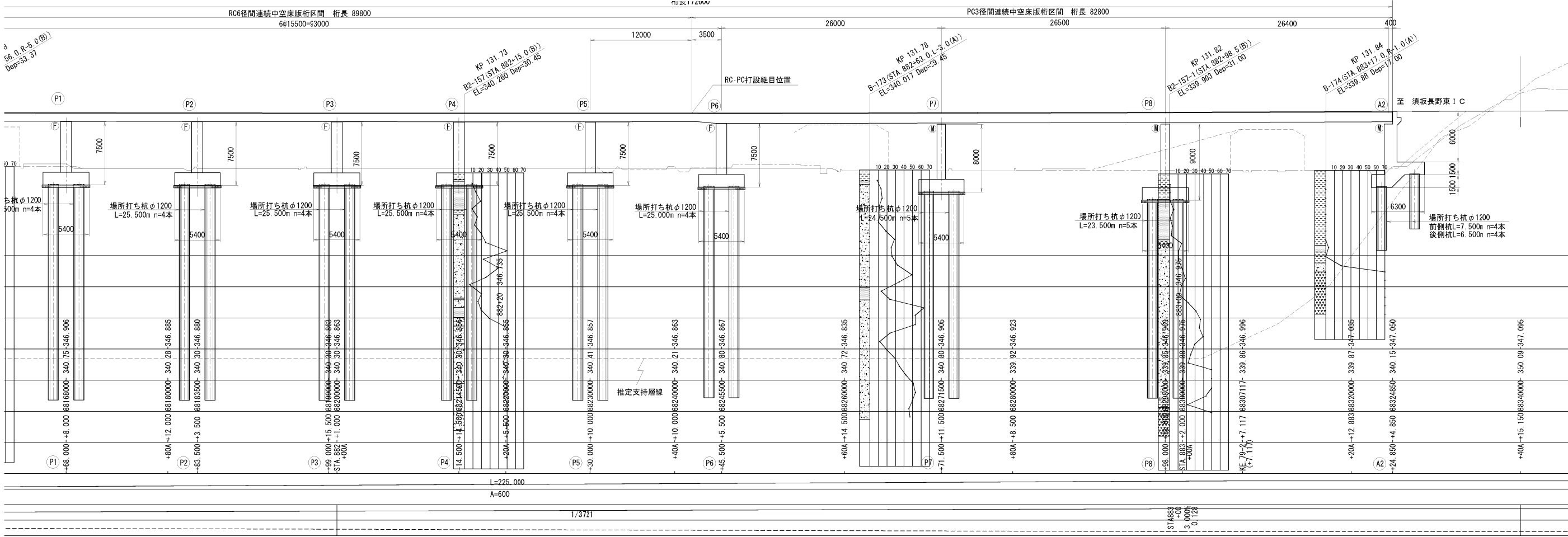


平面図

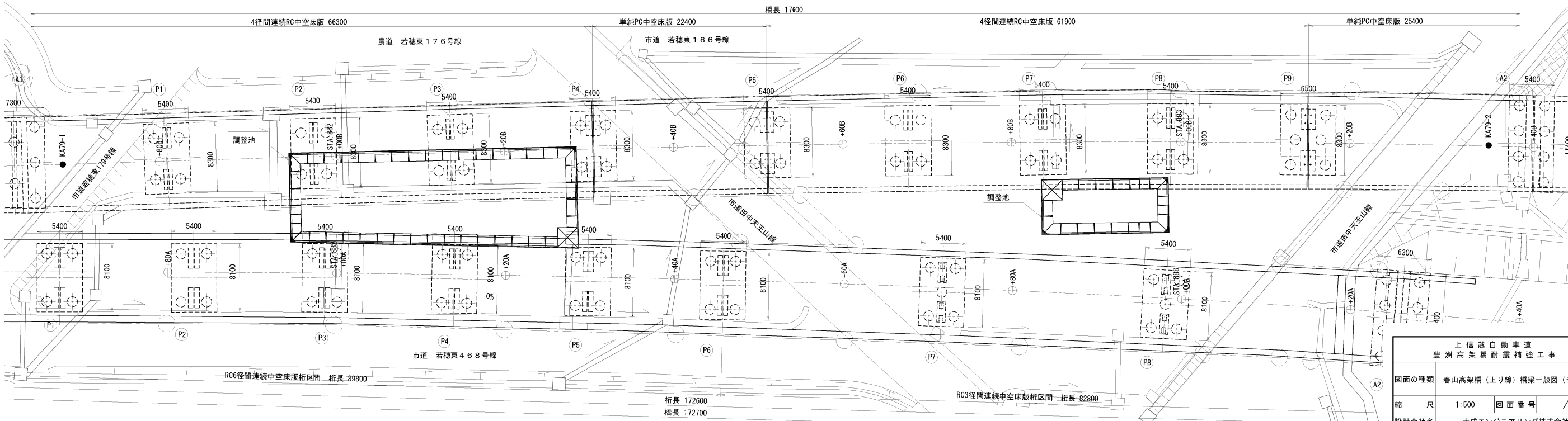


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線）橋梁一般図（その１）		
縮 尺	1:500	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

側面図

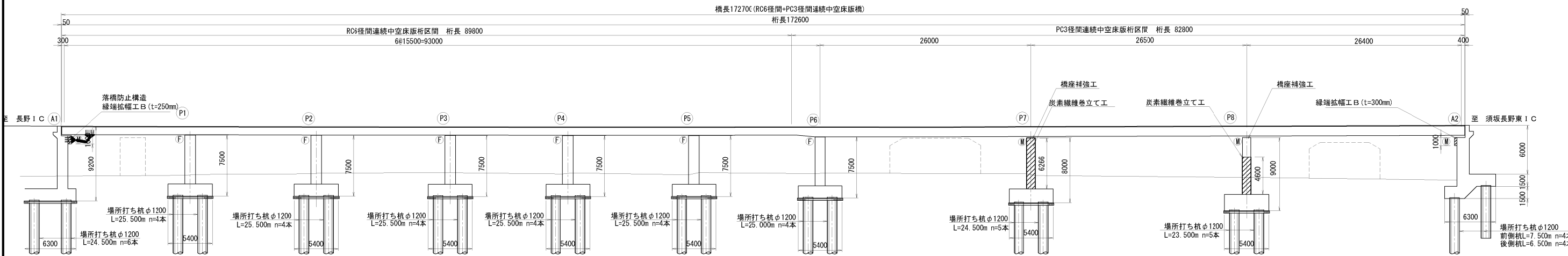


平面図

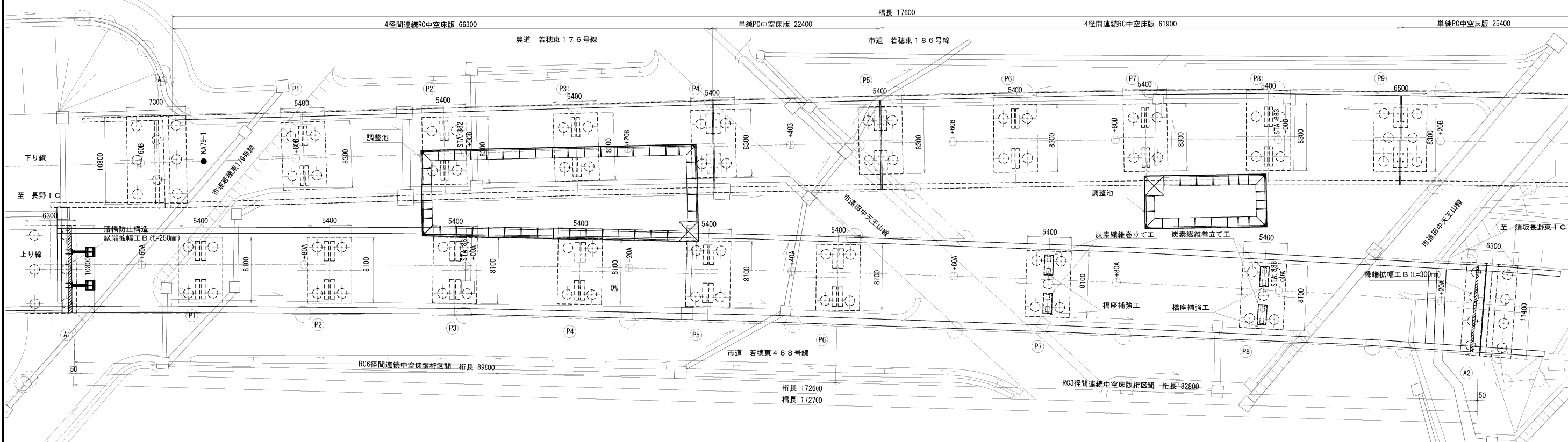


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線）橋梁一般図（その2）		
縮尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

側面図



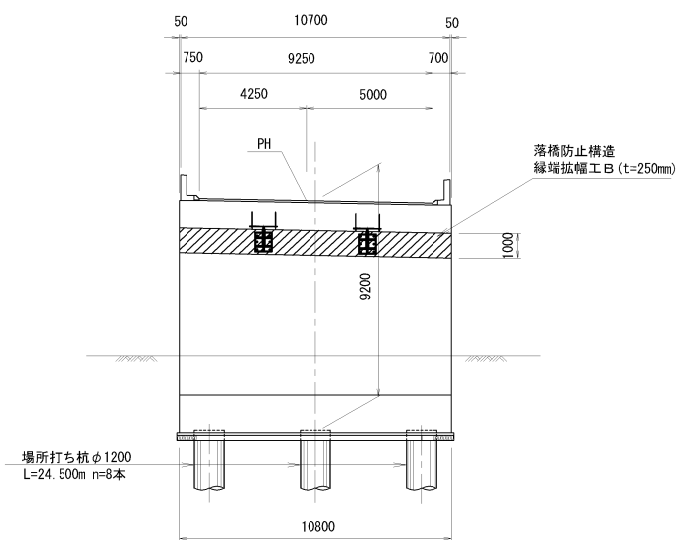
平面図



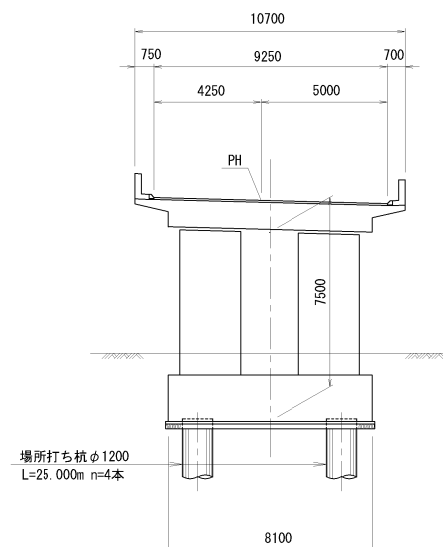
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） 耐震補強一般図（その１）		
	縮尺	1:500	図面番号 /
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

断面図

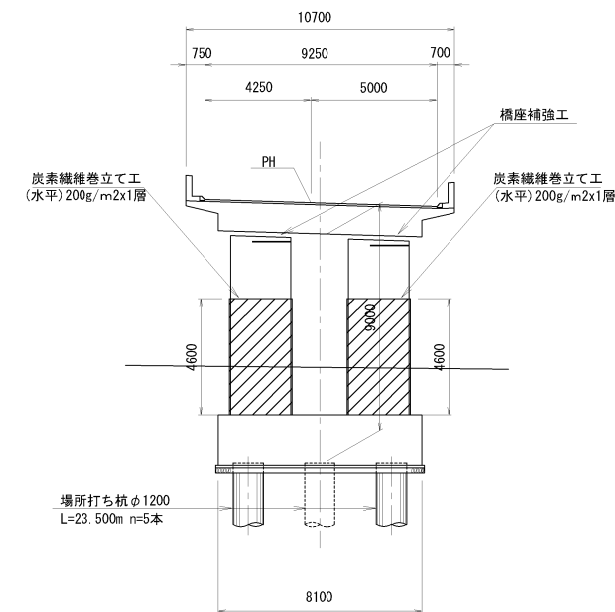
A1橋台



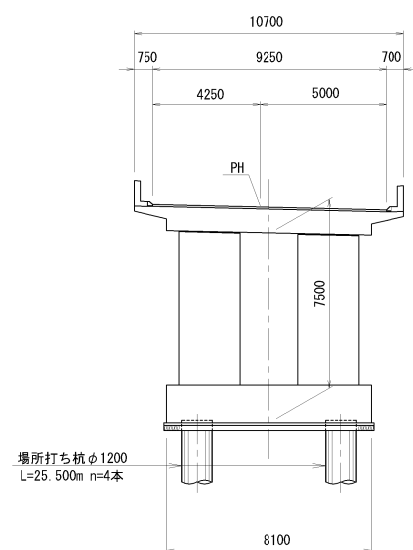
P6橋脚



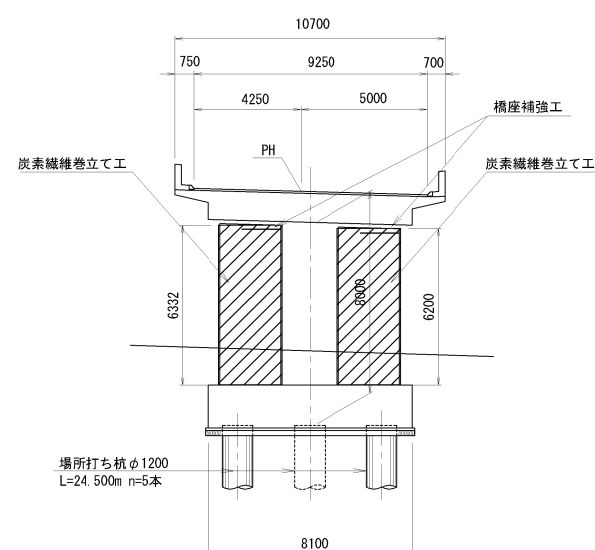
P8橋脚



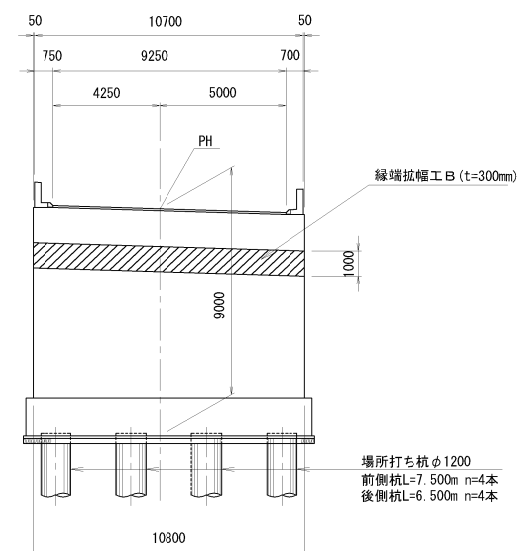
P1~P5橋脚



P7橋脚



A2橋台

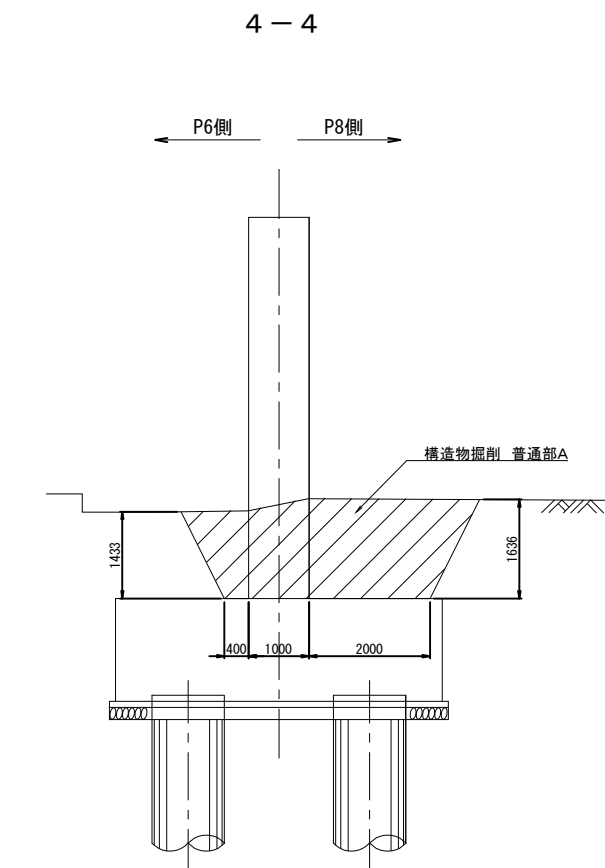
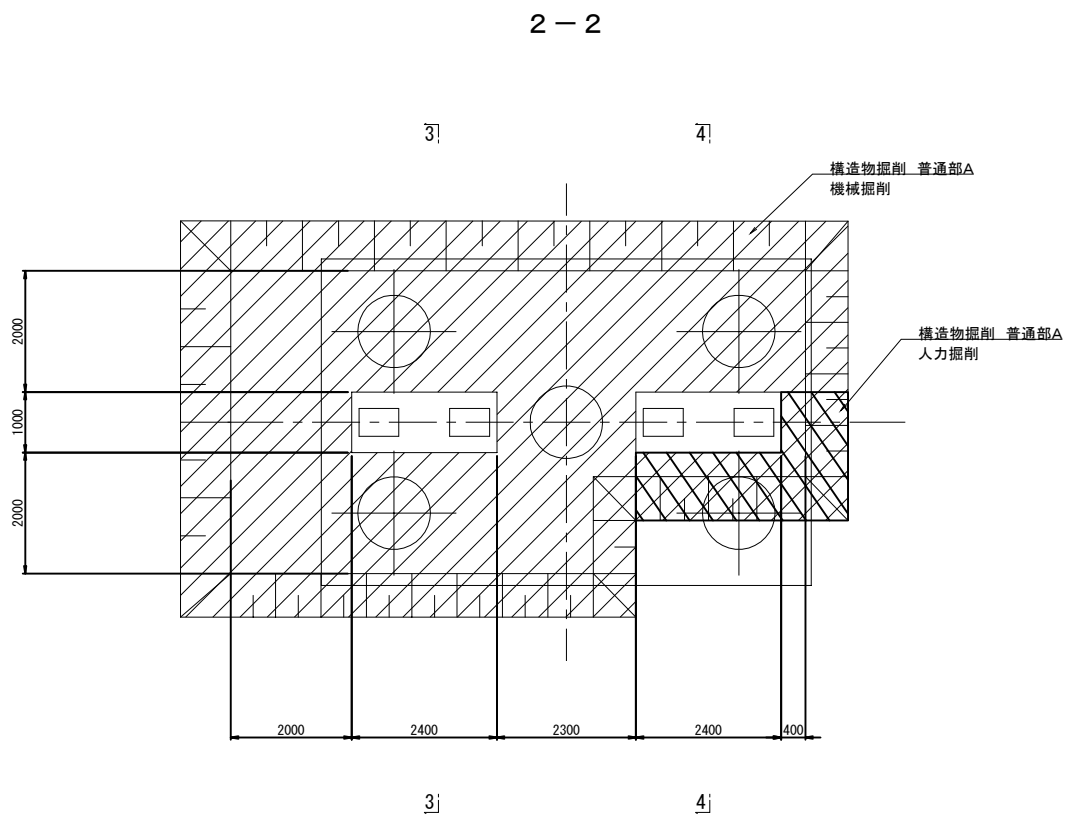
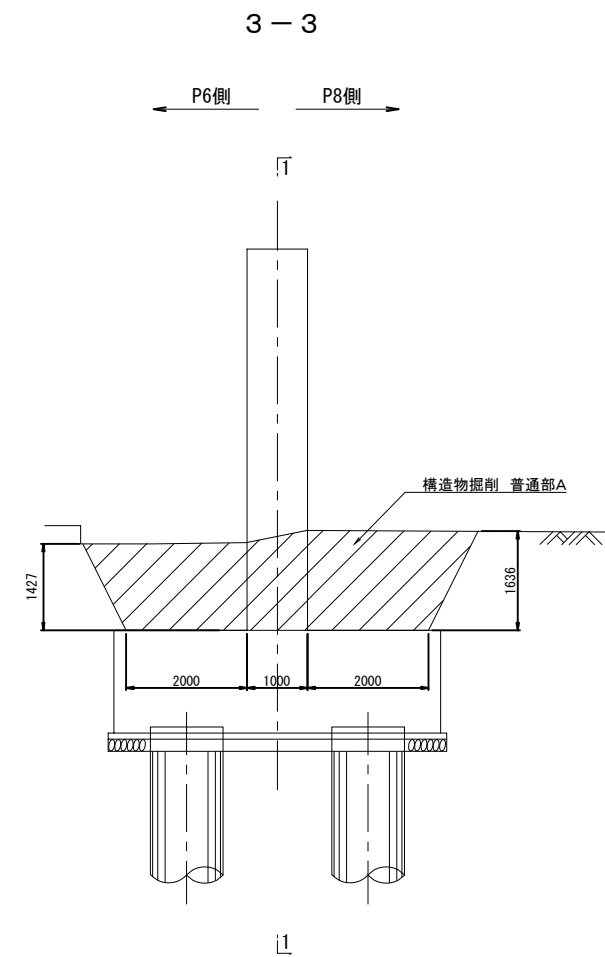
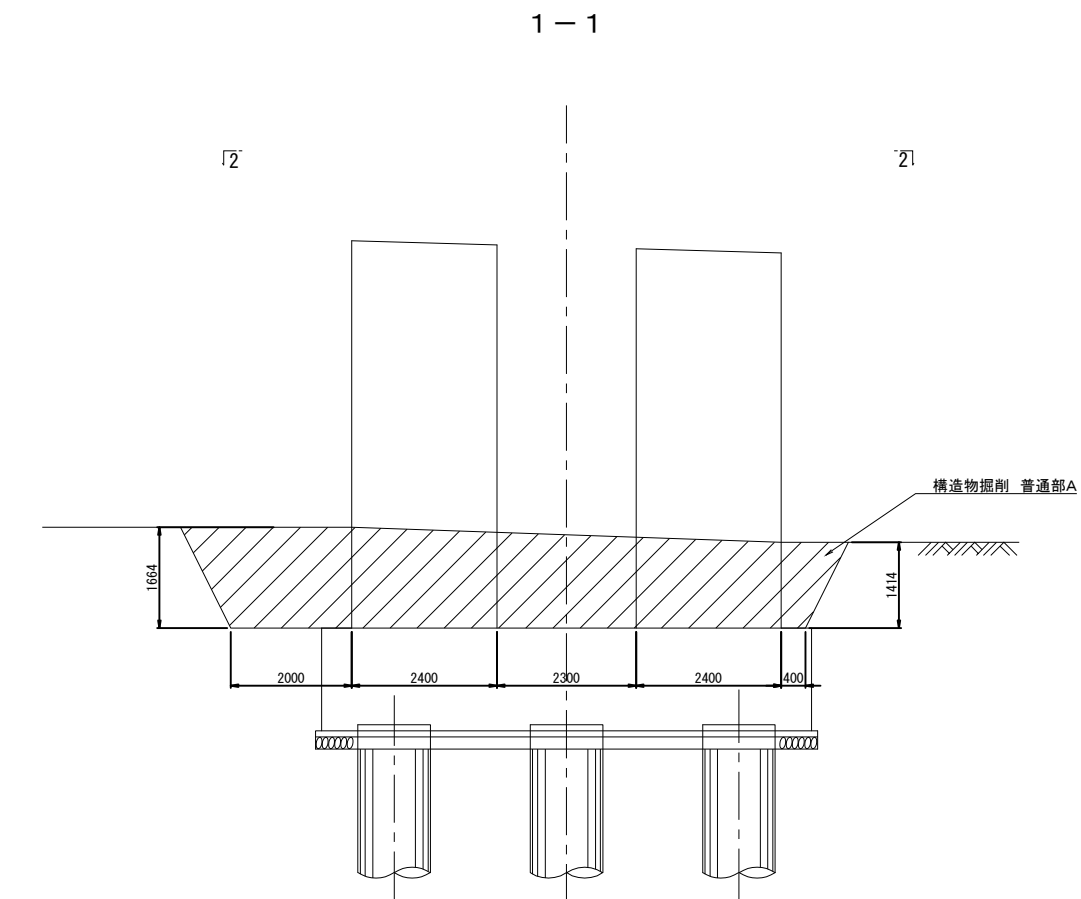


建設時設計条件

橋	長	172. 700m
支 間	長	6@15. 500m+26. 000m+26. 500m+26. 400m
全 幅	員	10. 700m
有 効 幅	員	9. 250m
上 部 工 型 式	RC6径間連続+PC3径間連続中床床版橋	
下 部 工 型 式	逆T式橋台、二柱式橋脚	
活 荷 重	TL-20. TL-43	
完 成 年 月	1986年(平成8年)3月	
設 計 基 準	H2道路橋示方書・同解説	
設 計 水 平 震 度	K=0. 30	
使 用 材 料	コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$
	鉄筋	SD345
	鋼材	12112. 4, S11PR7A

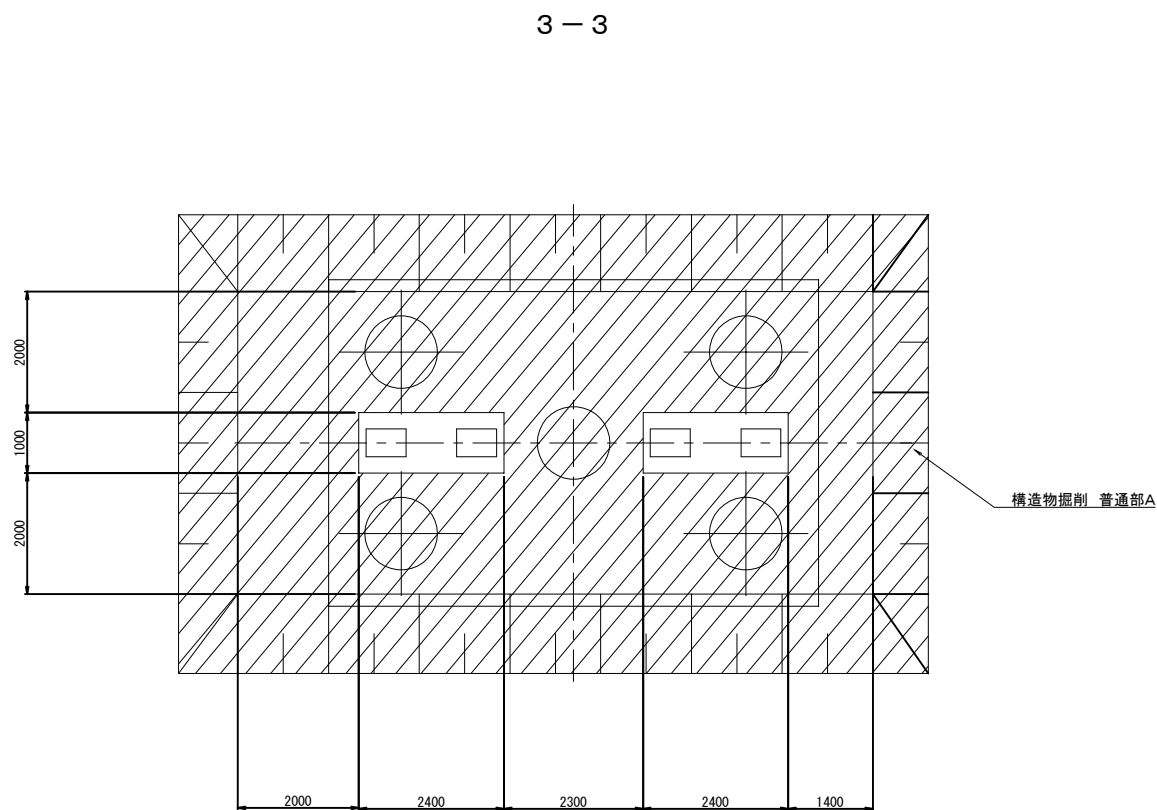
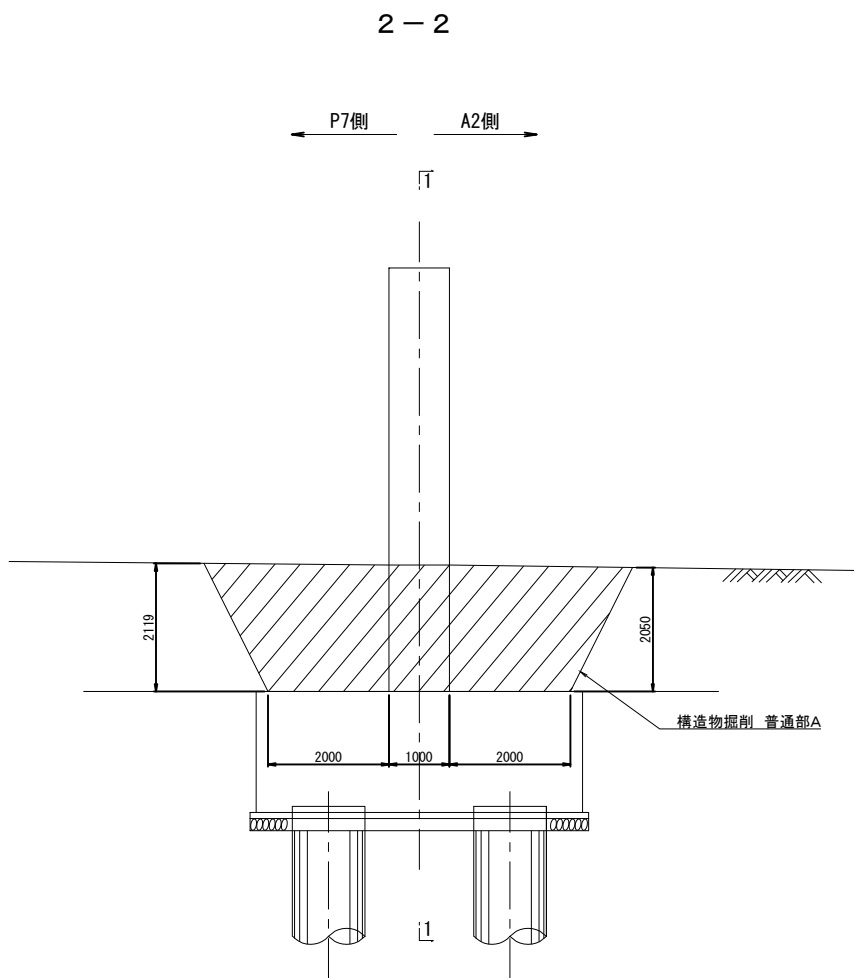
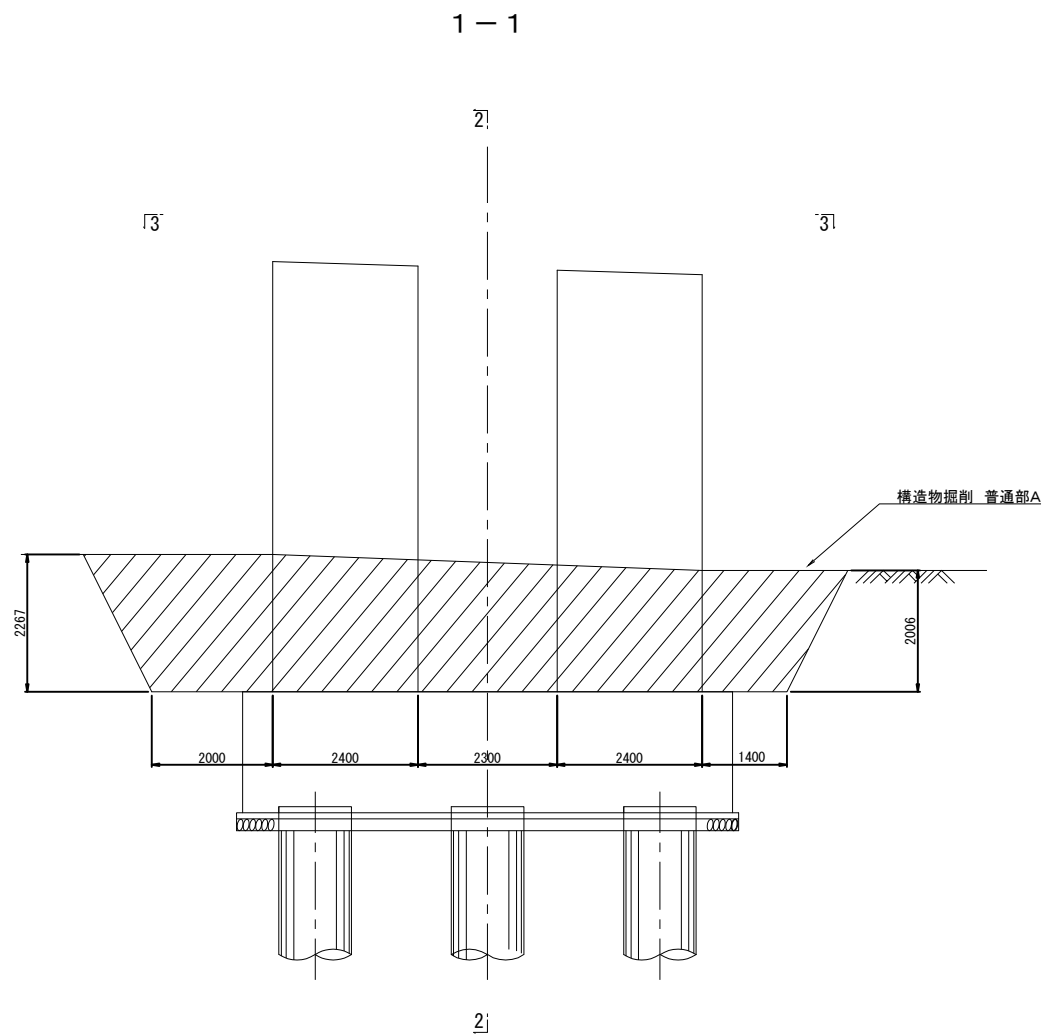
今回耐震補強設計条件

設 計 基 準	R7設計要領 第二集 橋梁保全編	
	H24道路指示方書・同解説 IV下部構造編	
活 荷 重	H24道路指示方書・同解説 V耐震設計編	
	B活荷重	
使用材料	コンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$
補強内容	鉄筋	SD345
	橋台	炭素繊維巻立て工、橋座補強工
	橋樑	線路掘削工 B 落橋防止構造・チェーンタイプ



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

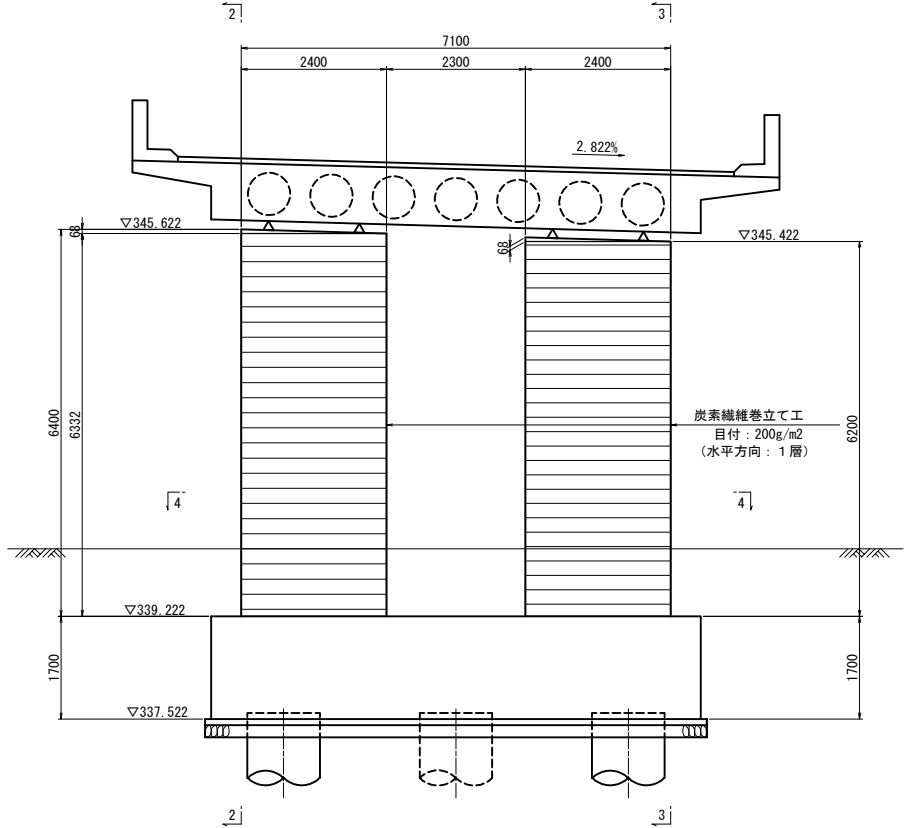
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 7 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



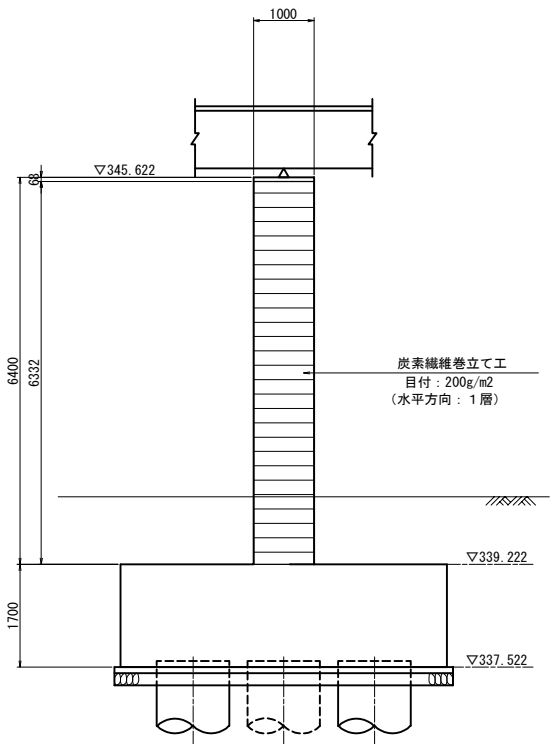
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 8 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

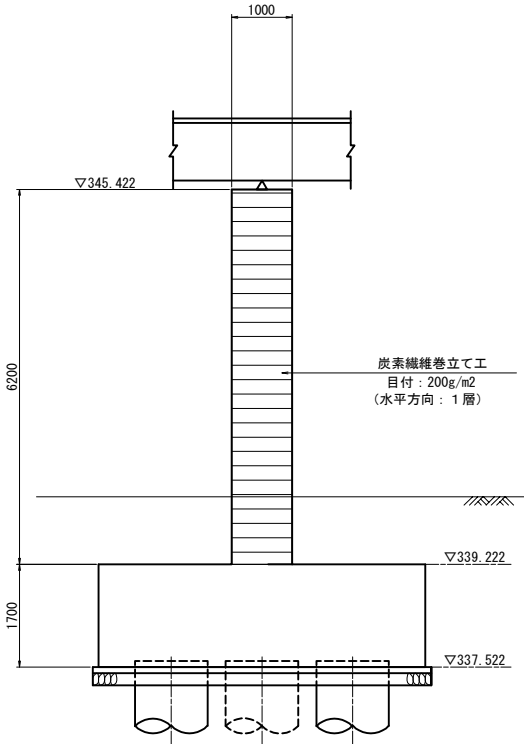
正面図
(1 - 1)



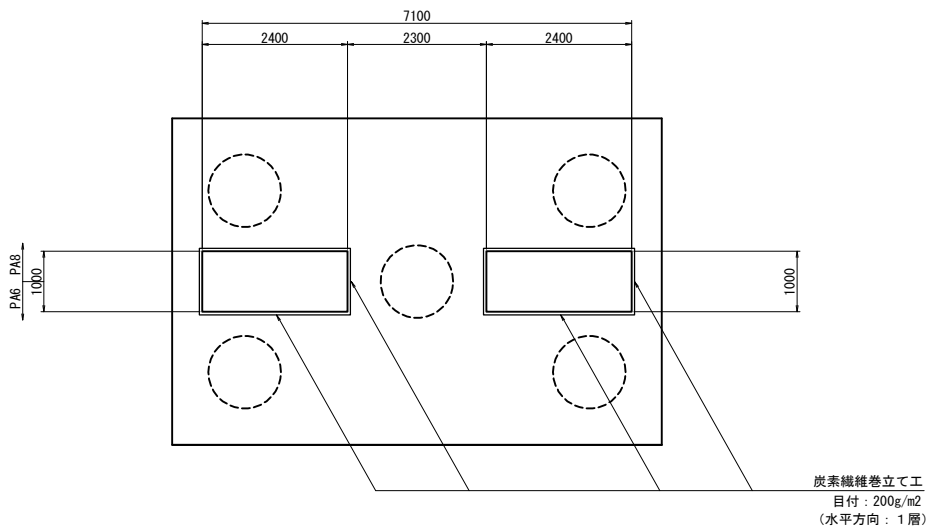
側面図
(2 - 2)



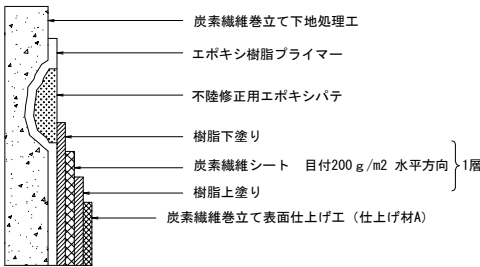
側面図
(3 - 3)



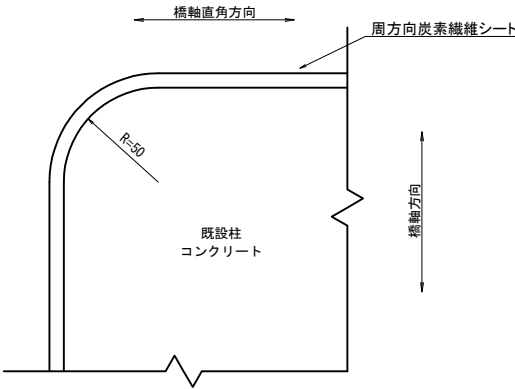
平面図
(4 - 4)



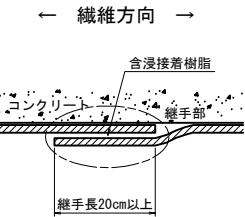
炭素繊維シート施工断面図
(区分：A1)



柱隅角部詳細図 S=1:5



継手の設置方法 S=1:15



炭素繊維シート性能表

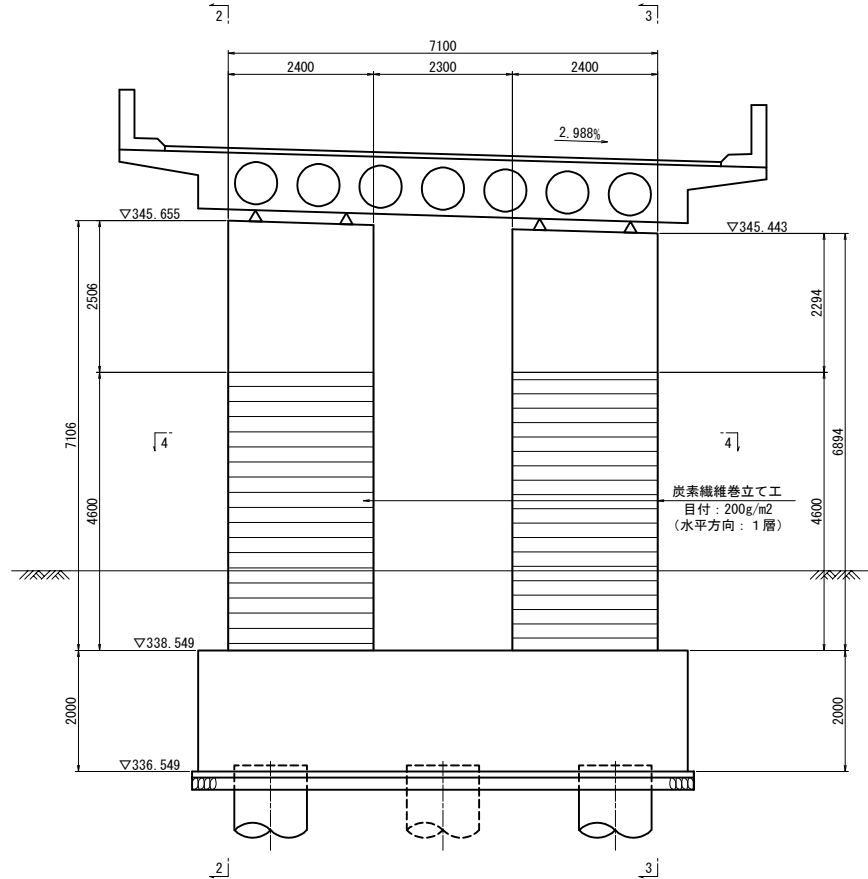
繊維目付 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性係率 (N/mm ²)	設計厚さ (mm)	備考
200	3400	(2.45±0.36) × 10 ⁻⁵	0.111	高強度型

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 7 橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

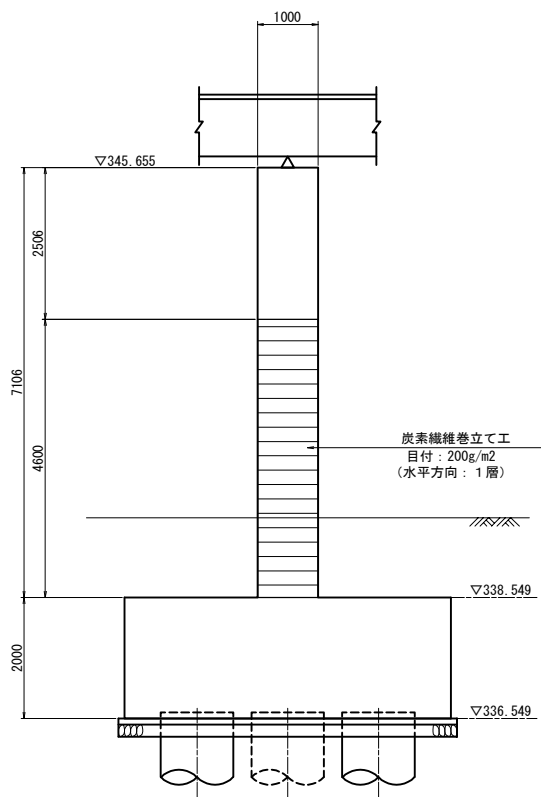
正面図

(1 - 1)



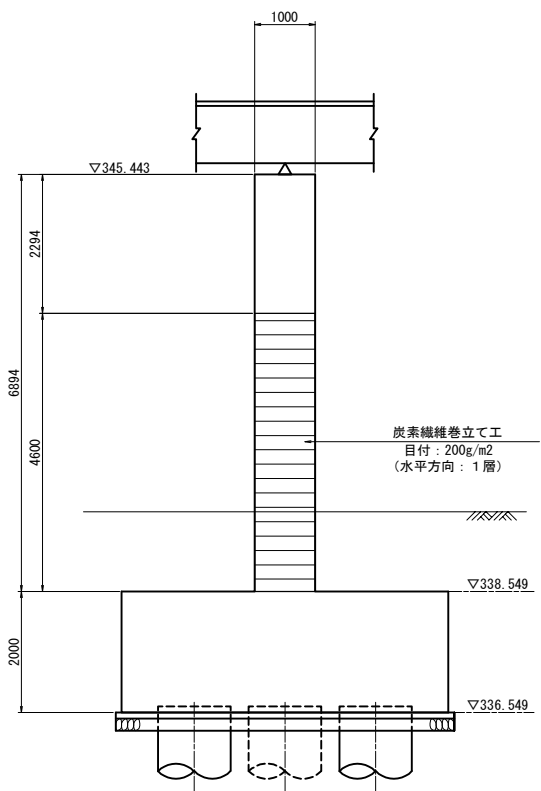
側面図

(2 - 2)



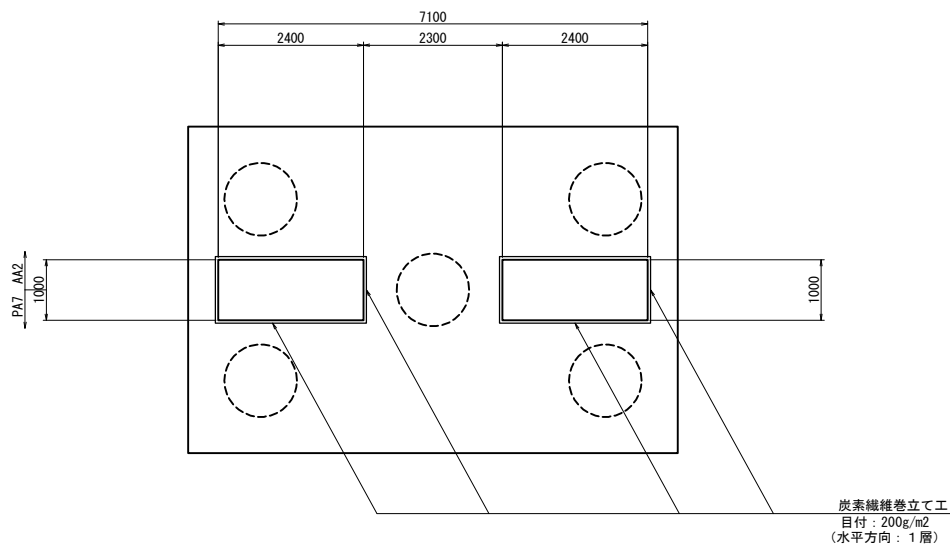
側面図

(3 - 3)



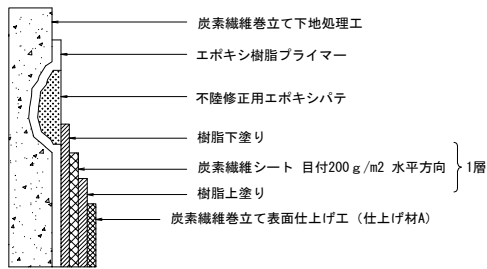
平面図

(4 - 4)



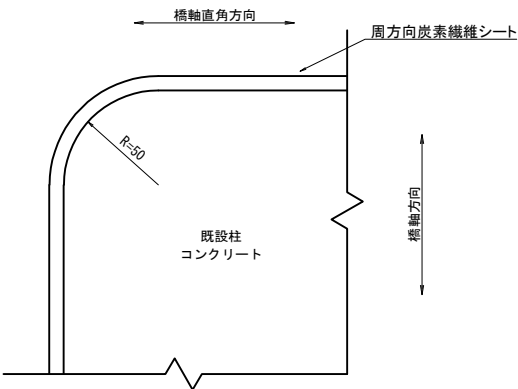
炭素繊維シート施工断面図

(区分：A1)



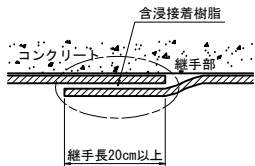
柱隅角部詳細図

S=1:5



継手の設置方法 S=1:15

← 繊維方向 →



炭素繊維シート性能表

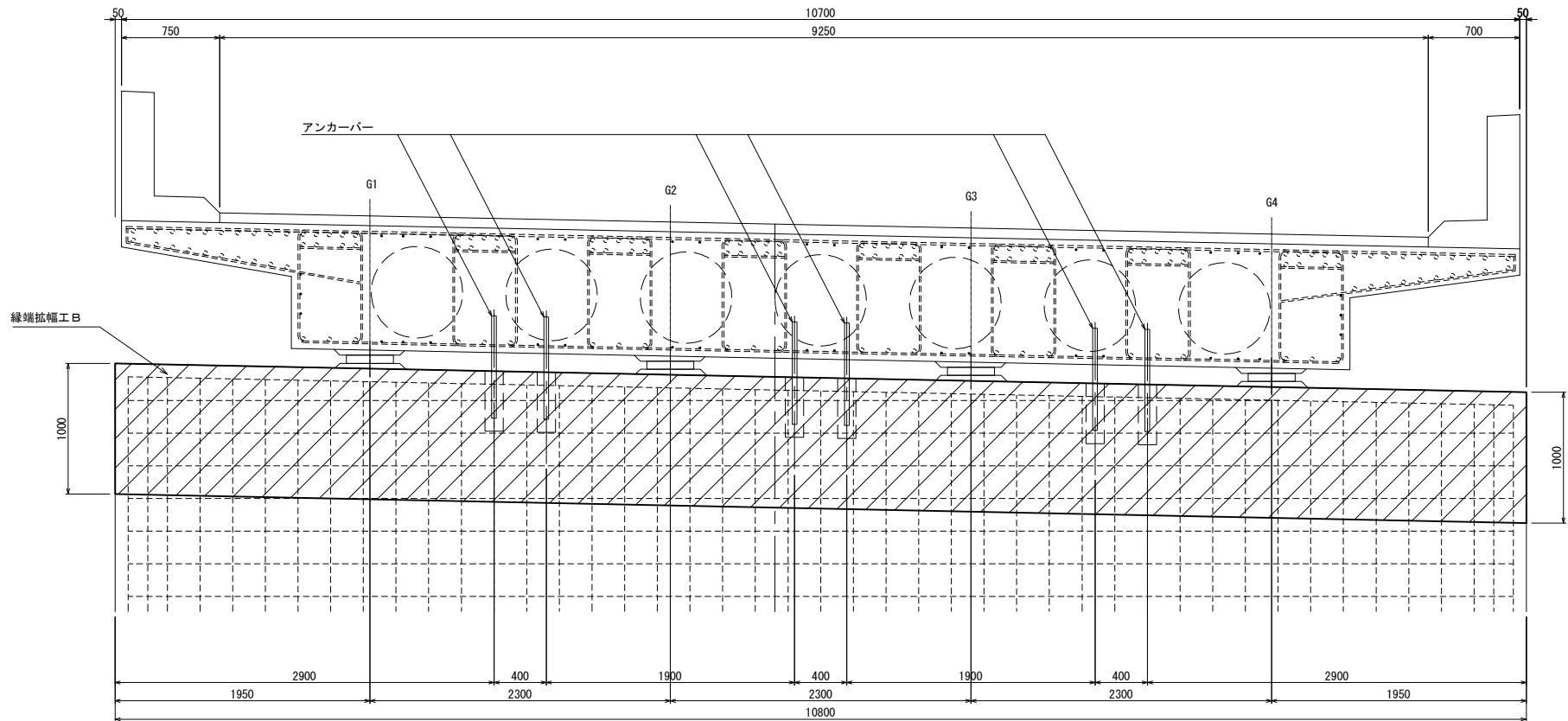
繊維目付 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性係率 (N/mm ²)	設計厚さ (mm)	備考
200	3400	(2.45±0.36)×10 ⁵	0.111	高強度型

注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

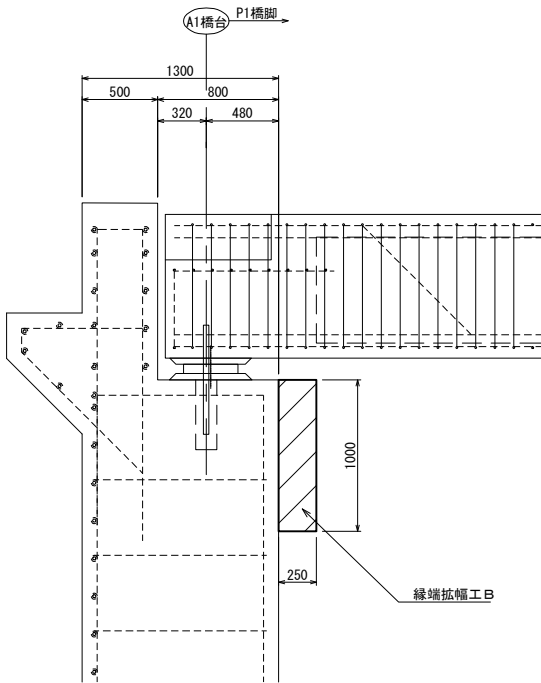
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事				
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 8橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所			

配置図

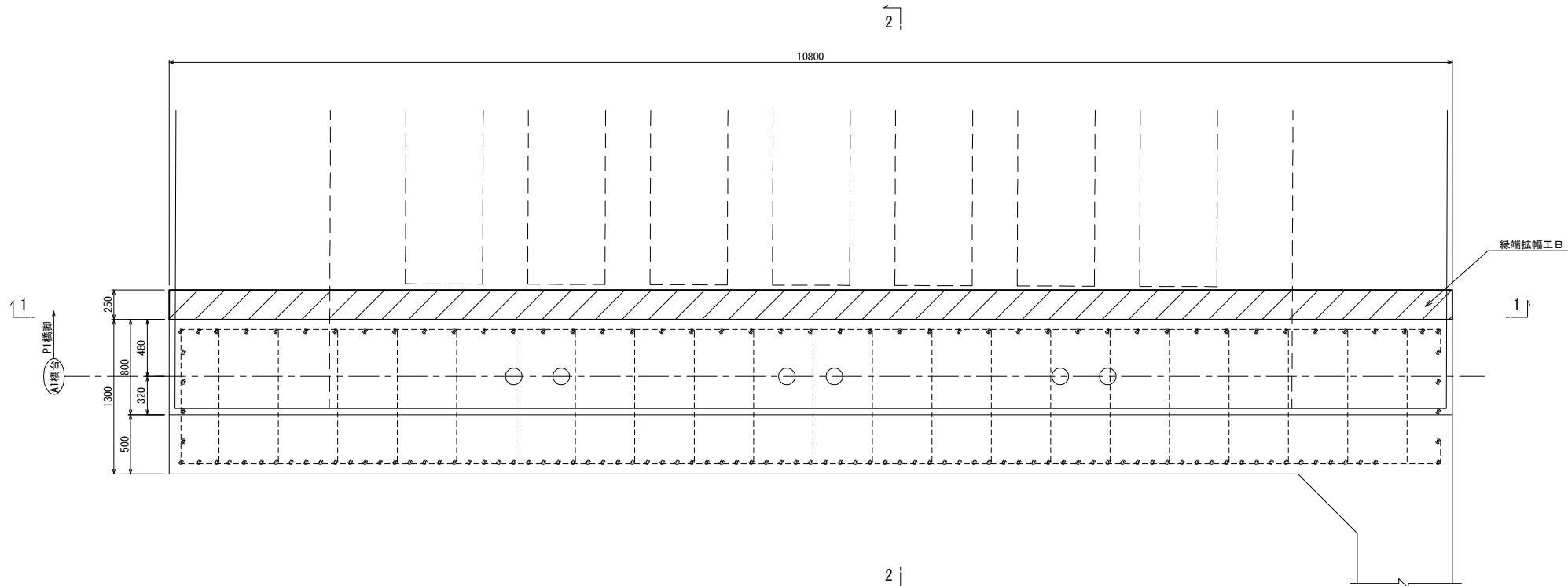
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2



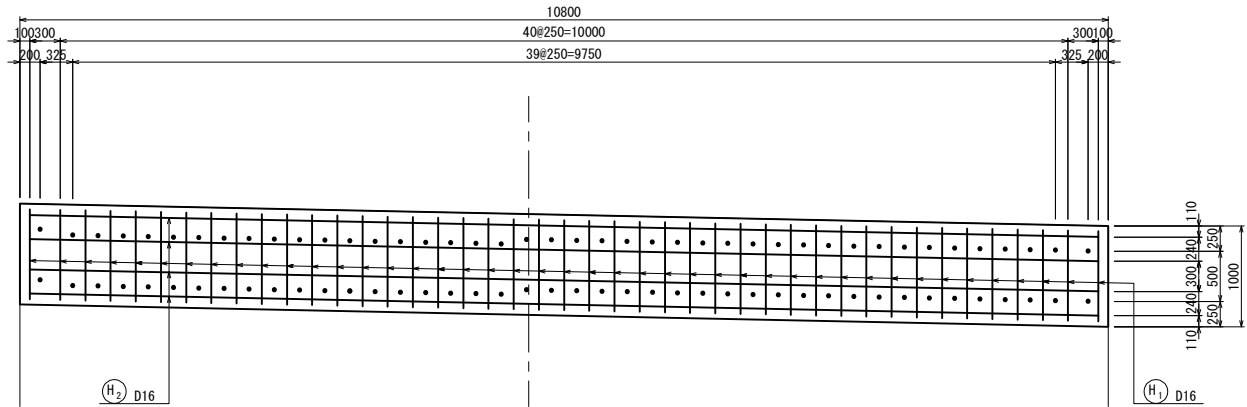
平面図



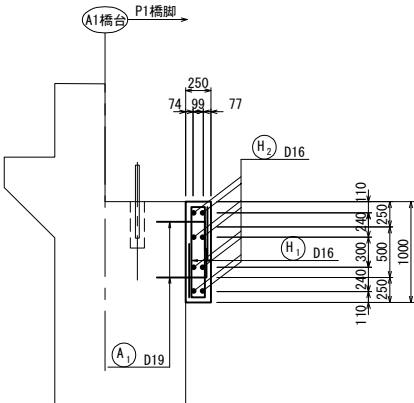
- 注記)
1. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 2. 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 3. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 4. 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 5. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） A 1 橋台 縁端拡幅工B詳細図（その1）		
縮 尺	1:50	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

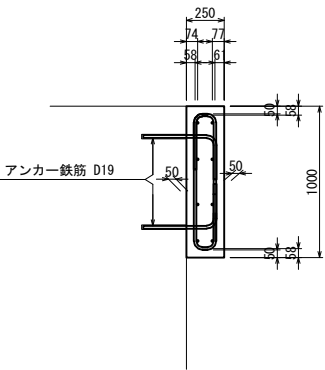
正面図



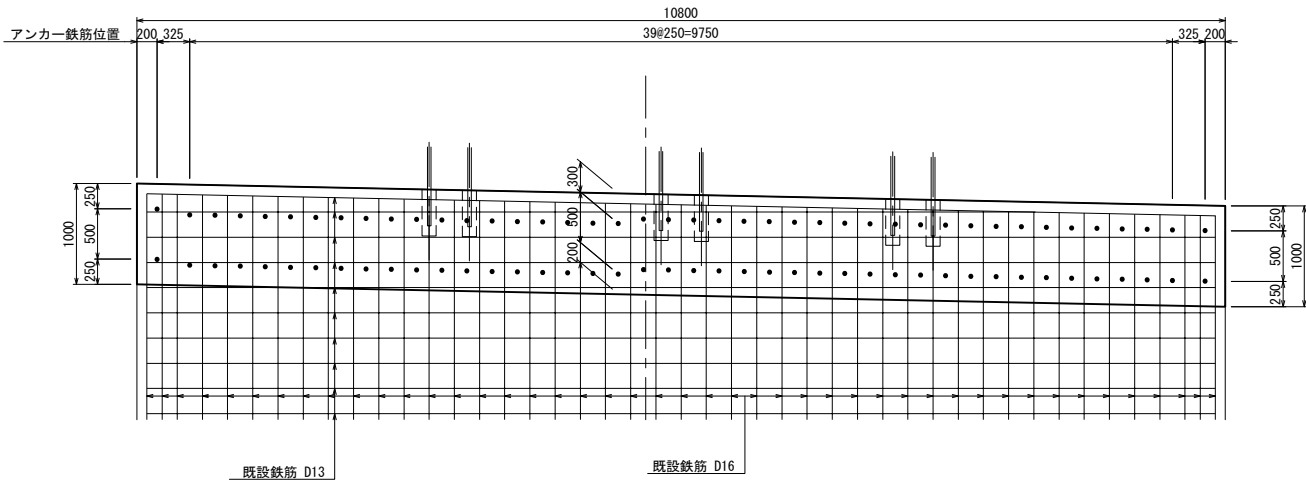
側面図



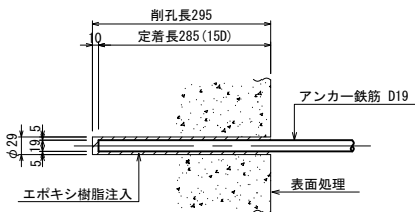
かぶり詳細図 S=1:50



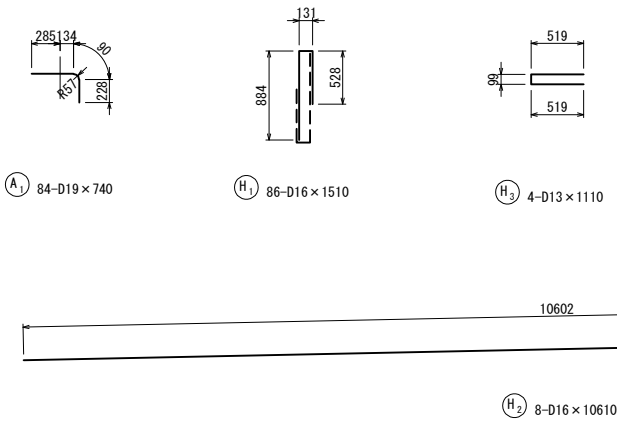
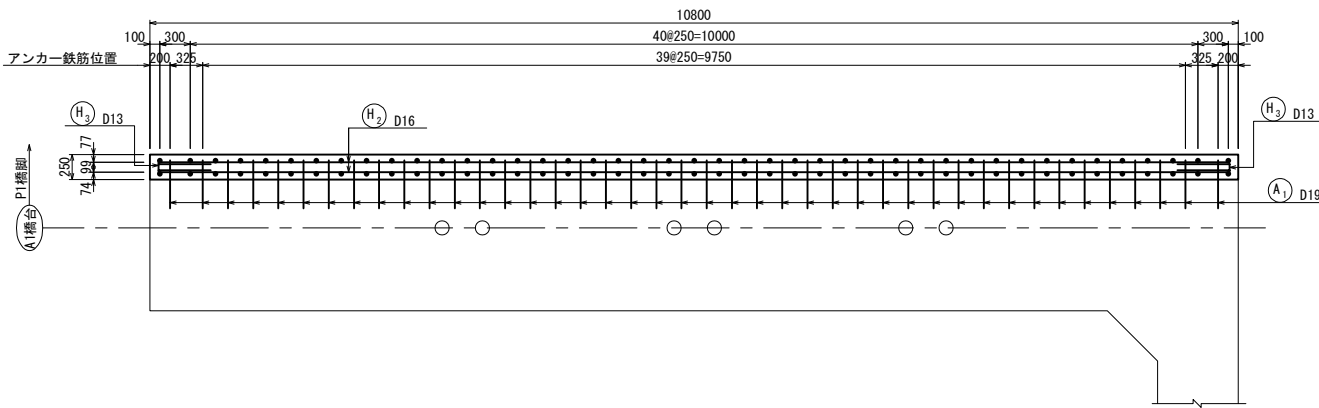
正面図



アンカー鉄筋 S=1:12.5



平面図



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
下部工施工鉄筋 (SD345)							
A1	D19	740	84	2.25	1.67	140	┐
						140	kg
H1	D16	1510	86	1.56	2.36	203	┐
H2	D16	10610	8	1.56	16.6	133	┐
H3	D13	1110	4	0.995	1.10	4	┐
						340	kg
鉄筋質量集計 (SD345)							
						D19	140 kg
						D16	336 kg
						D13	4 kg
						合計	480 kg

鉄筋曲げ加工表

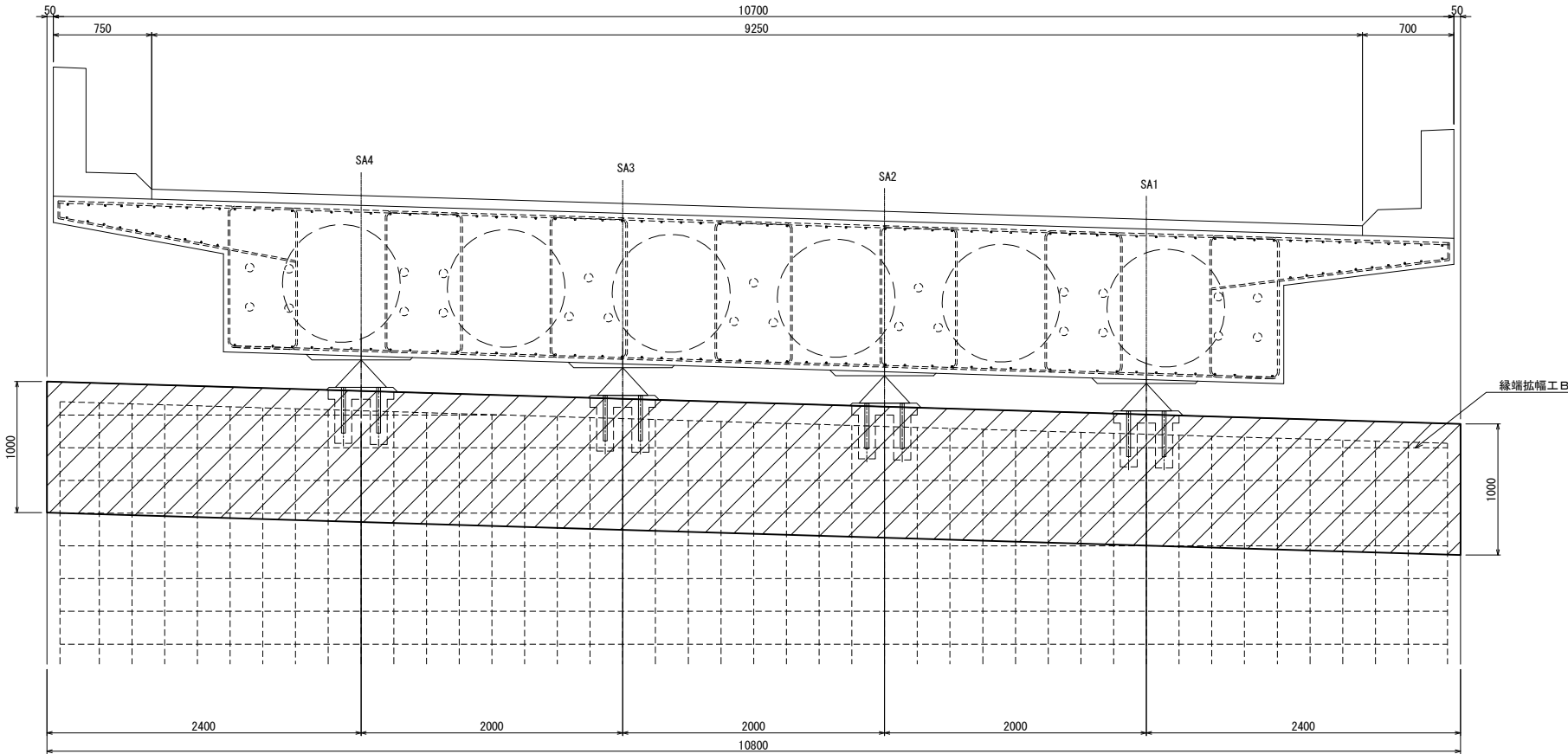
注) 曲げ半径 (R=3φ、5.5φ) は鉄筋中心までの長さとする。				
径	θ ≤ 90° R=3φ	θ > 90° R=5.5φ	a	ΔL
D13	39	71.5	61	17
D16	48	88	75	21
D19	57	104.5	89	25

- 注記)
- コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 - 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 - 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 - アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

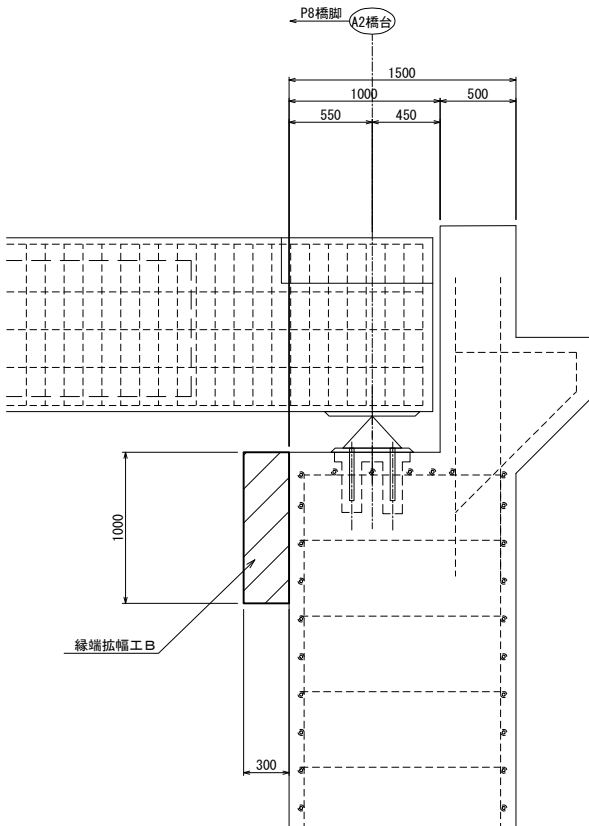
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事				
図面の種類	春山高架橋（上り線） A1橋台 縁端拡幅工B詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所			

配置図

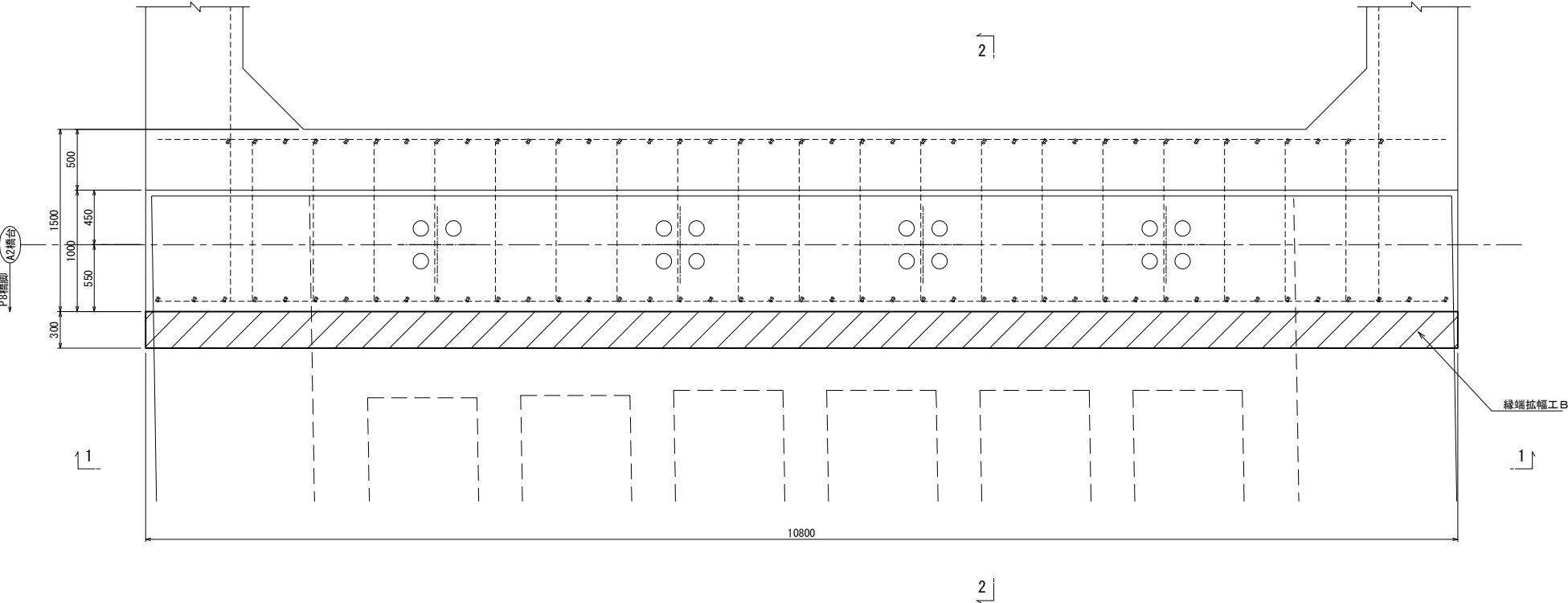
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2



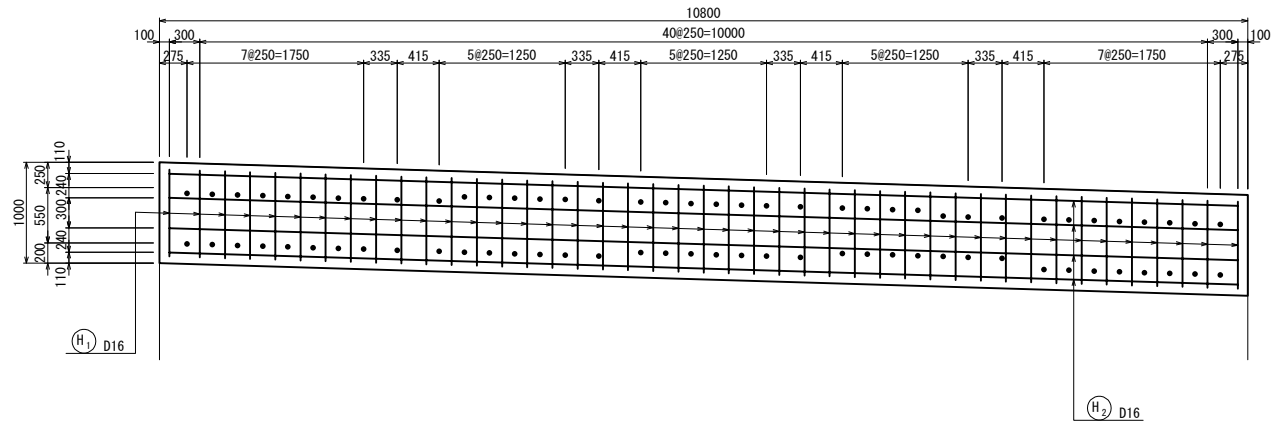
平面図



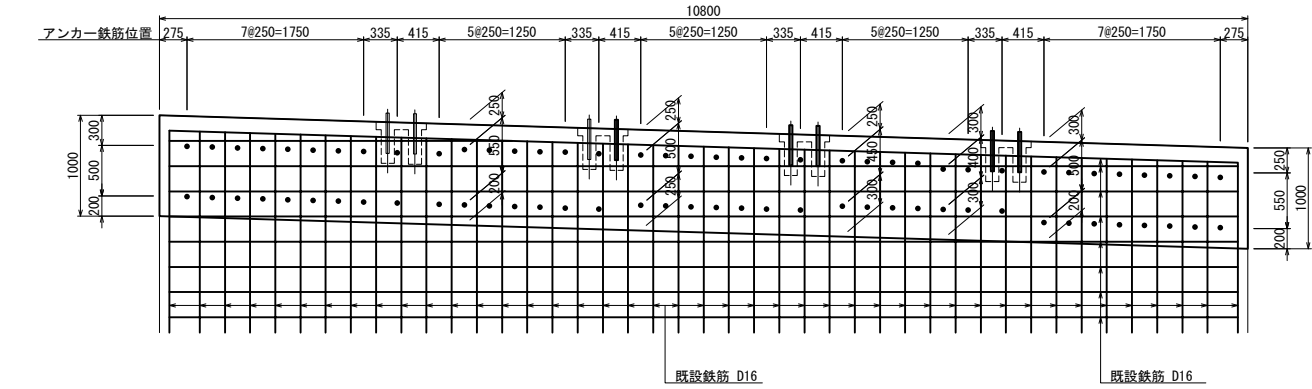
- 注記)
1. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ok}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 2. 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 3. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 4. 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 5. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） A 2 橋台 縁端拡幅工B詳細図（その 1）		
縮 尺	1:50	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

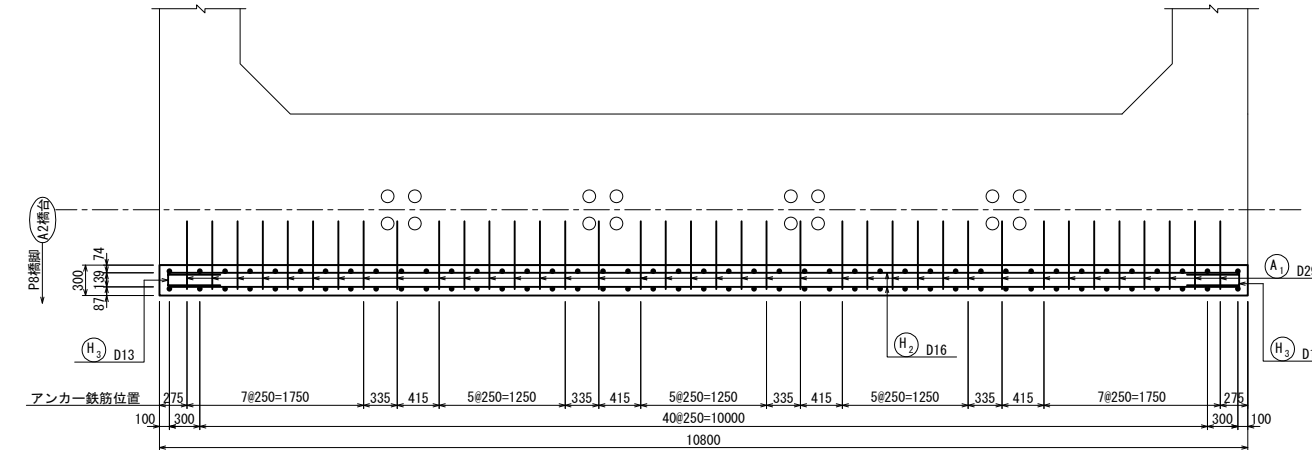
正面図



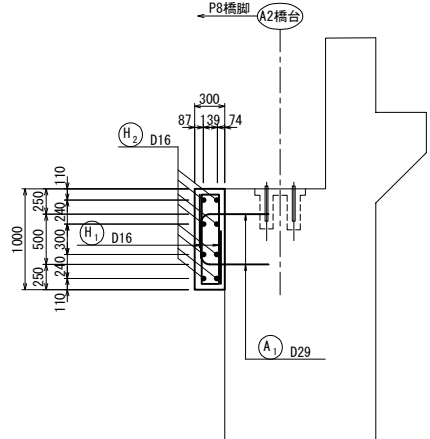
正面図



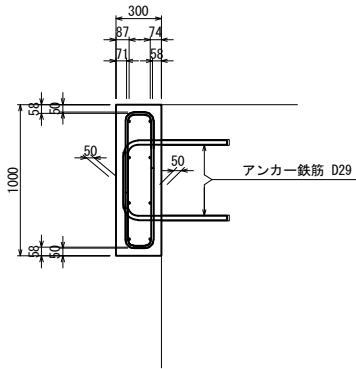
平面図



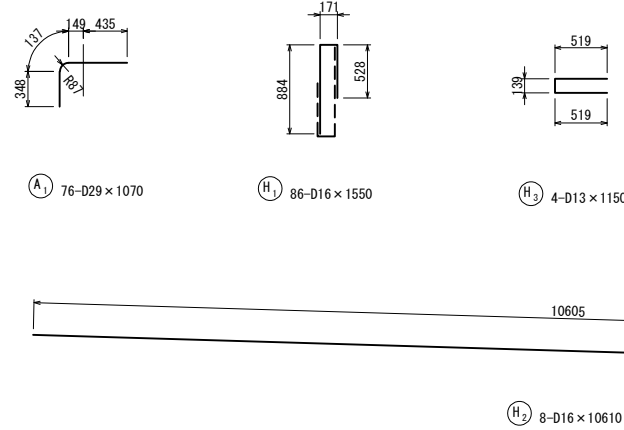
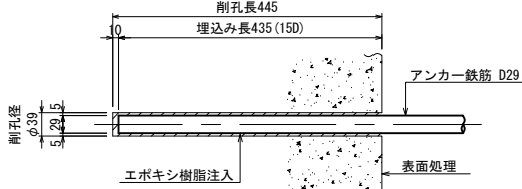
側面図



かぶり詳細図 S=1:50



アンカー鉄筋 S=1:12.5



鉄筋表

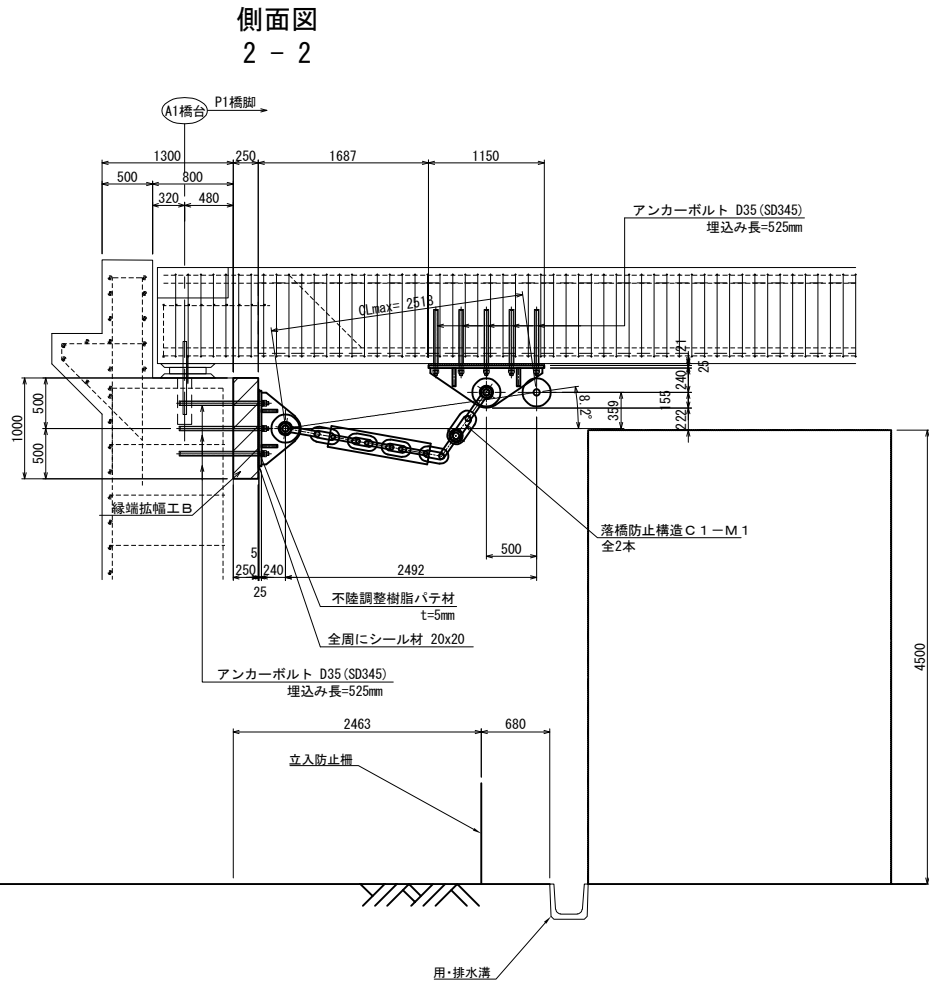
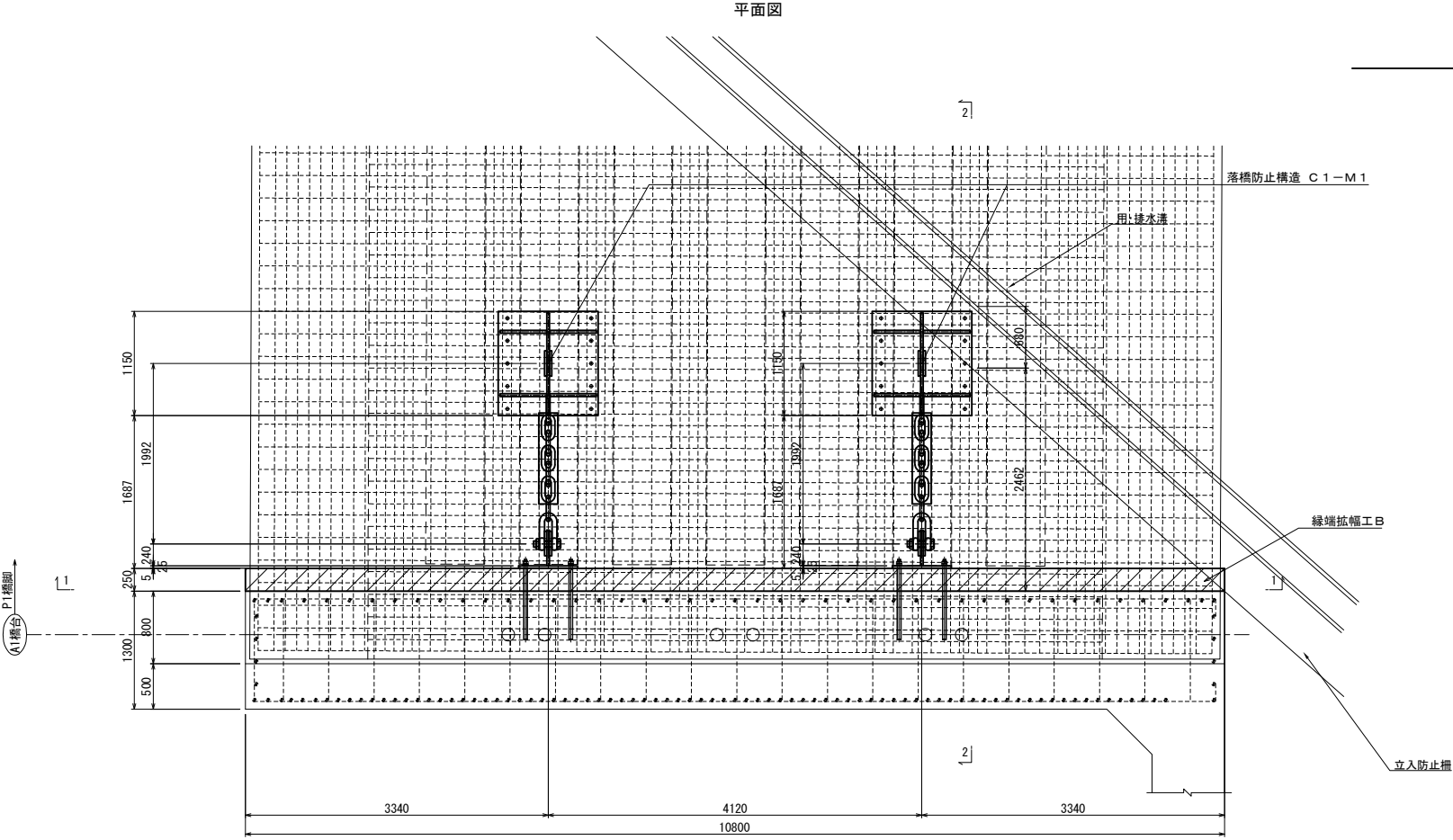
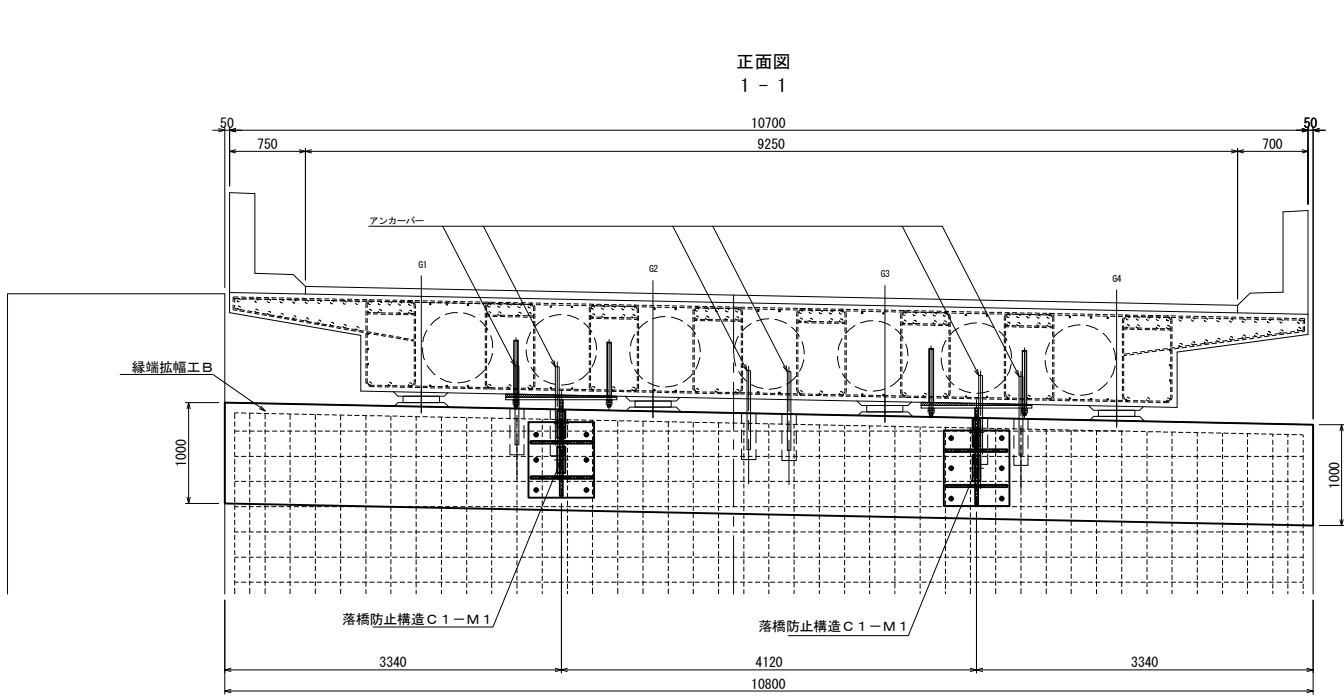
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
下部工施工鉄筋 (SD345)							
A1	D29	1070	76	5.04	5.39	410	
						410	kg
H1	D16	1550	86	1.56	2.42	208	
H2	D16	10610	8	1.56	16.6	133	
H3	D13	1150	4	0.995	1.14	5	
						346	kg
鉄筋質量集計 (SD345)							
						D29	410 kg
						D16	341 kg
						D13	5 kg
						合計	756 kg

鉄筋曲げ加工表

注) 曲げ半径 (R=3φ、5.5φ) は鉄筋中心までの長さとする。				
径	θ ≤ 90° R=3φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 90° a	ΔL
D13	39	71.5	61	17
D16	48	88	75	21
D29	87	159.5	137	37

- 注記)
- コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 - 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 - 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 - アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） A 2 橋台 縁端拡幅工B詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

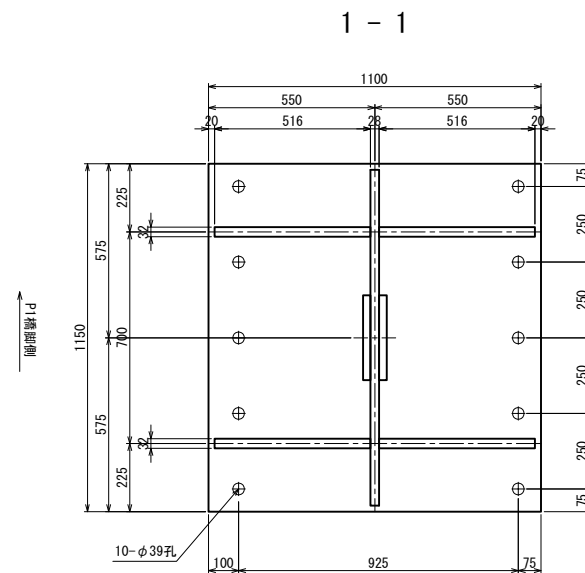


死荷重反力	1250 kN
設計水平力	1875 kN
1 本当たりの引張力	960 kN
設計遊間量	500 mm

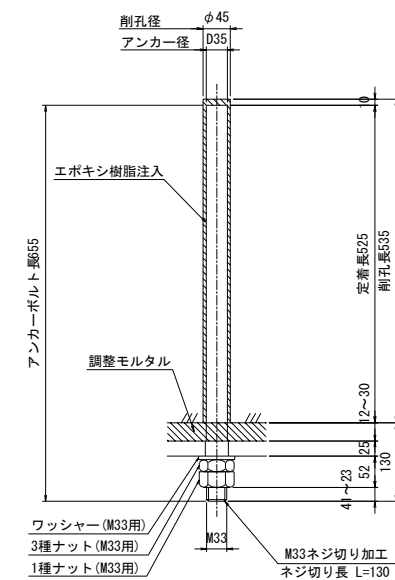
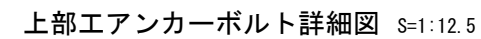
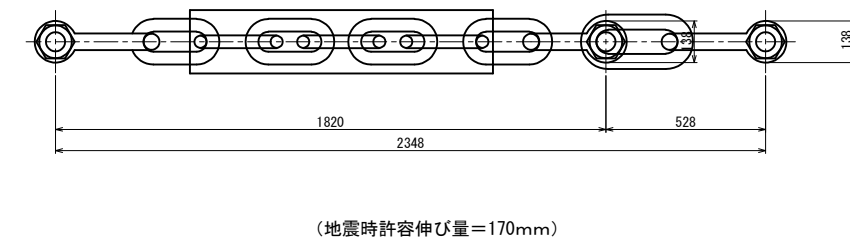
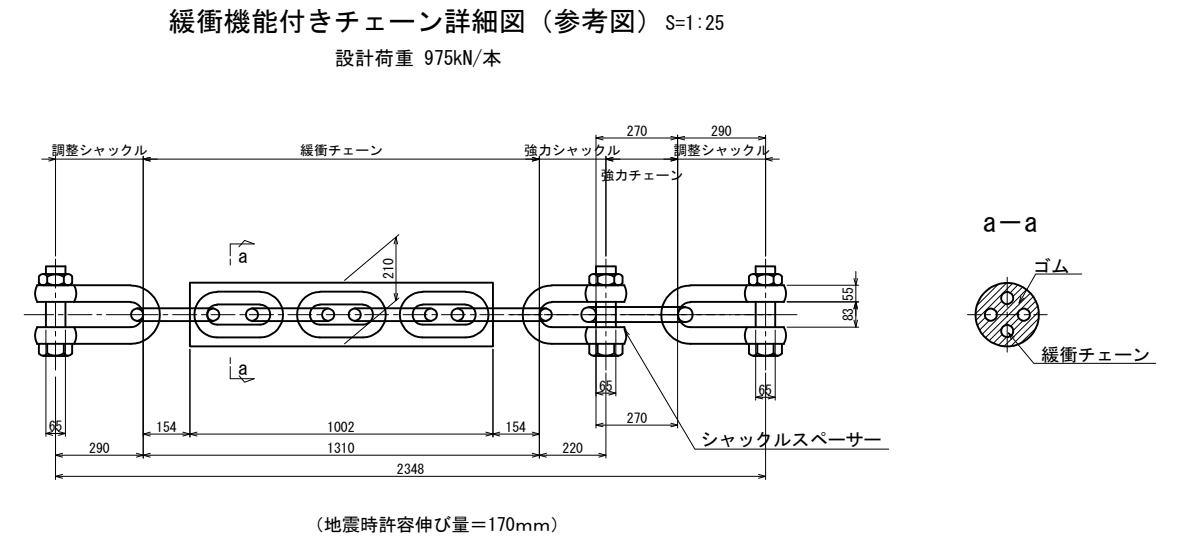
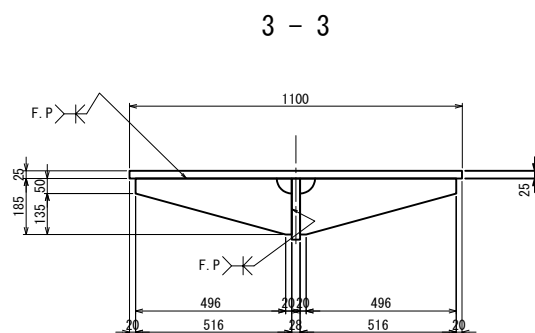
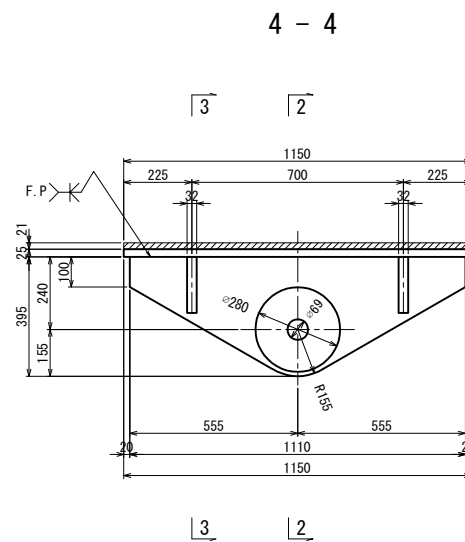
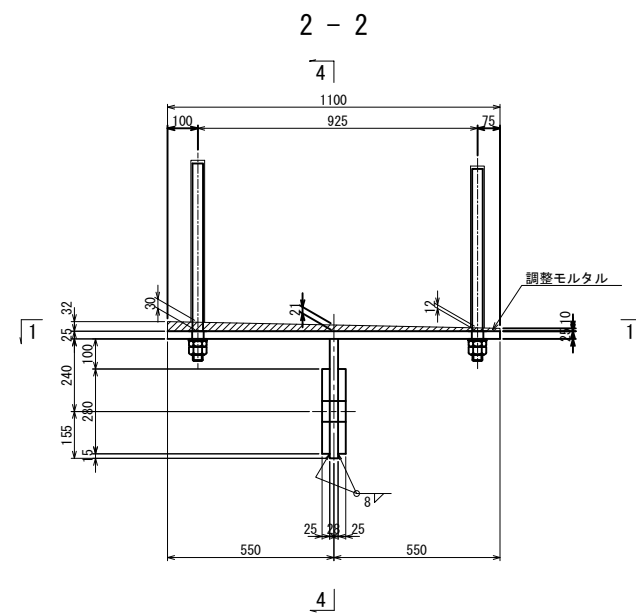
- 注記)
1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
 2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探査等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
 3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D:アンカー径) 以上確保すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） A 1 橋台 落橋防止構造 C 1—M 1 構造詳細図（その 1）		
	縮 尺	1:75	図 面 番 号 /
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

上部エブラケット
TYPE-1、2



- ブラケット1基当り(製作数: 2基)
- 1-BASE PL 1150x25x1100
 - 1-TOP PL 395x28x1110
 - 2-RING PL ϕ 280x25
 - 4-RIB PL 185x32x516
 - 10-Anc Bolt D35x655 (SD345)
 - 10-1種 Nut M33用 (SS400)
 - 10-3種 Nut M33用 (SS400)
 - 10-WASHER M33用 (SS400)

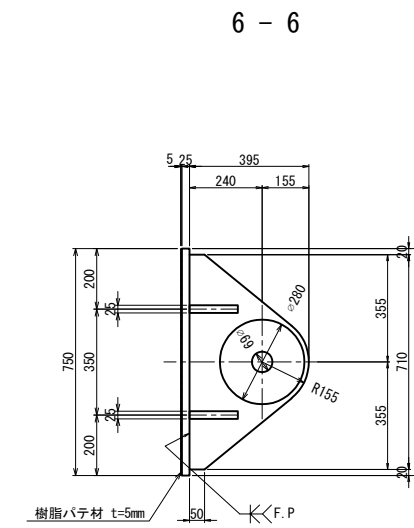


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- (注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 2. 特記なきスカラーリングは全てR50とする。
 3. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H0401 H-DZ77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZ749とする。
 5. 既設コンクリートへの削削の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋が切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 6. FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

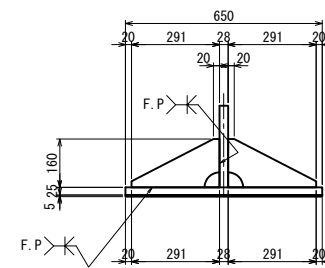
上 信 越 自 動 車 道 豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架構（上り線） A 1 機台 落橋防止構造物 C 1 - M 1 構造詳細図（その 2）		
	縮 尺	図 示	図面番号
	/		
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

TYPE-2



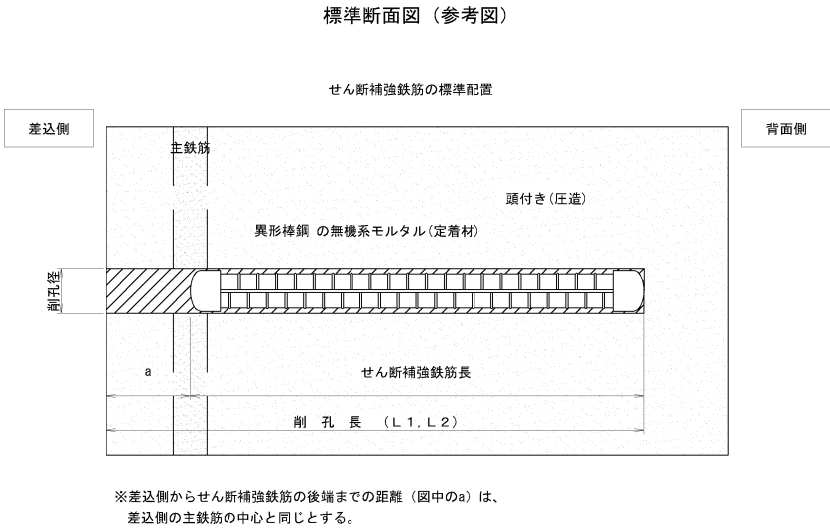
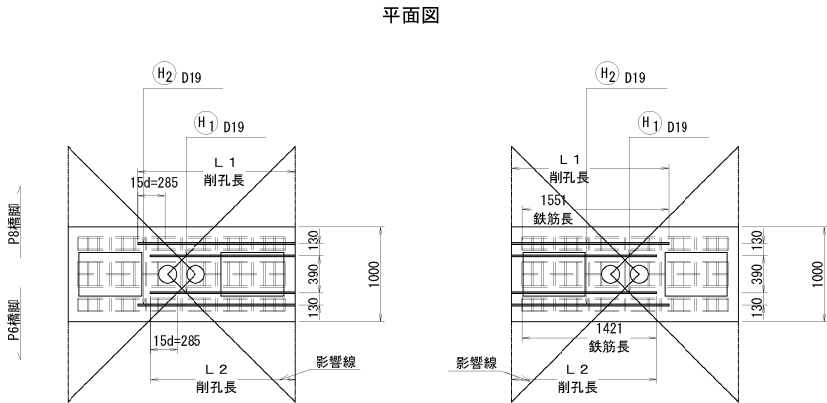
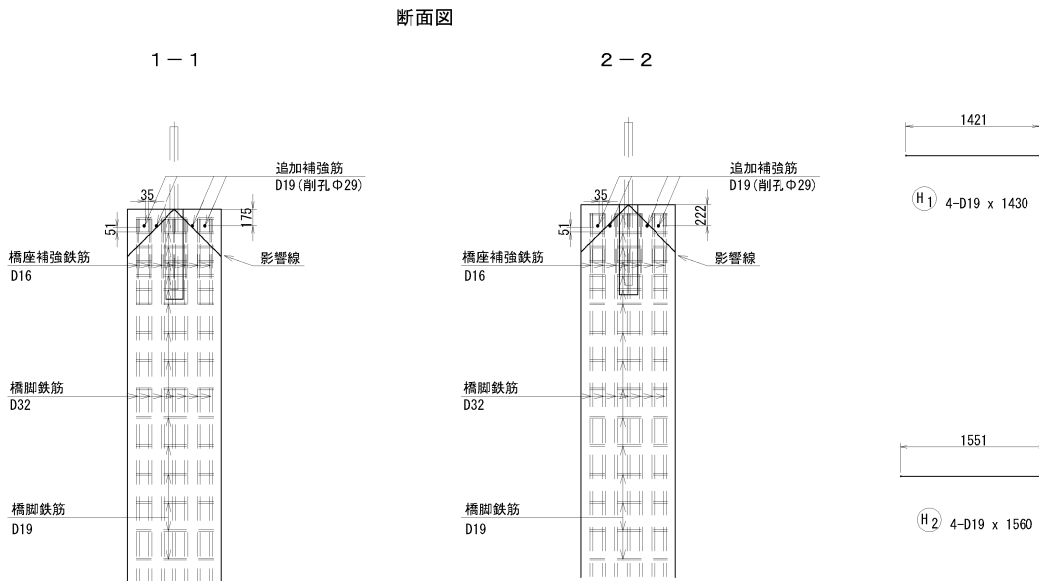
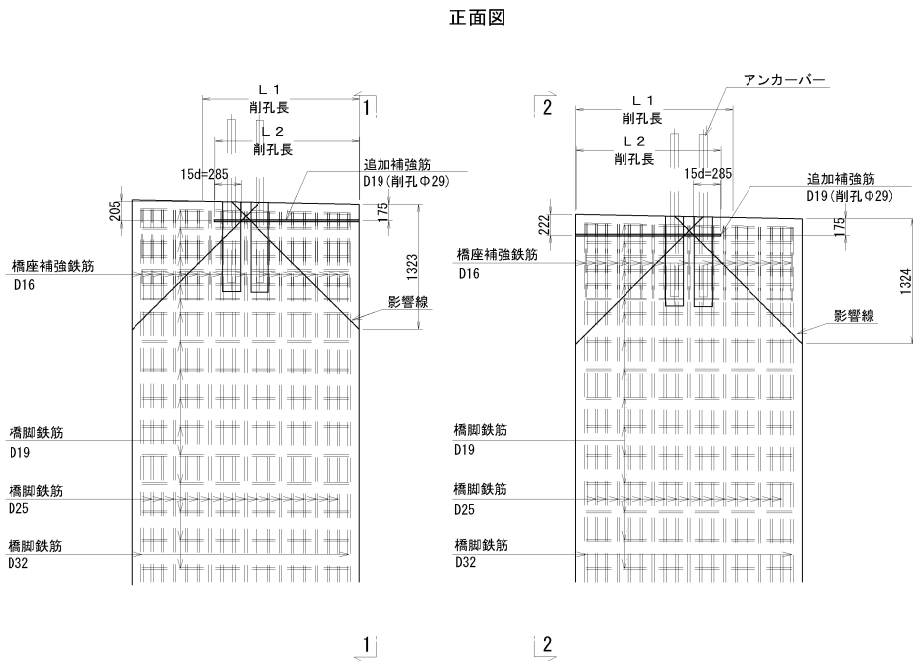
-
- 下部アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
- 削孔長535
定着長525
- 縁端幅 250 105
- 5 25 52 23
- エポキシ樹脂注入
- 削孔径
φ45
アンカー
径
105
- M33 ワッシャー
M33 3種ナット
M33 1種ナット
- M33
- M33ネジ切り加工
ネジ切り長 L=105
- 樹脂パテ材
(t=5mm)
- アンカーボルト長880

8 - 8



- | | | |
|-------|-----------------------------|---------|
| | 上 信 越 自 動 車 道 | |
| | 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事 | |
| 図面の種類 | 春山高架橋（上り線） A1橋台 | |
| | 落橋防止構造 C1—M1 | |
| | 構造詳細図（その3） | |
| 縮 尺 | 図 示 | 図 面 番 号 |
| 設計会社名 | 大成エンジニアリング株式会社 | |
| 施工会社名 | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社 関東支社
長野野工事 課 | |

設計水平地震力	790 kN
補強前橋座部耐力	639 kN
不足耐力	151 kN



削孔長寸法表 (mm)

L 1	L 2
1,661	1,531

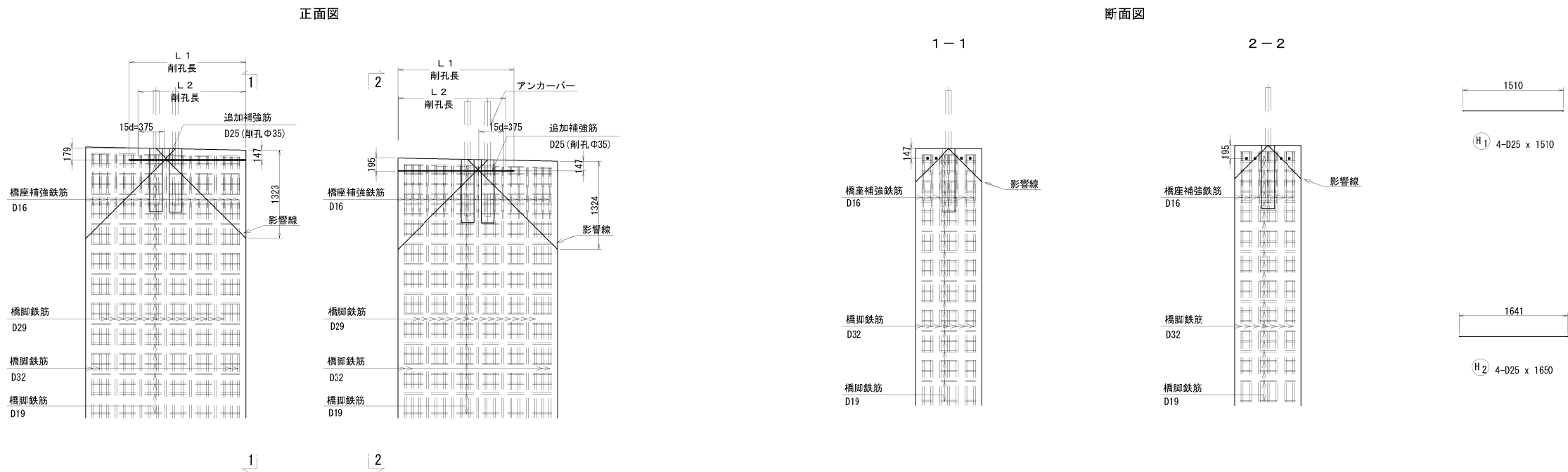
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
H 1	D19	1430	4	2.25	3.22	13	→
H 2	D19	1560	4	2.25	3.51	14	→
D19						27	kg
合計						27	kg

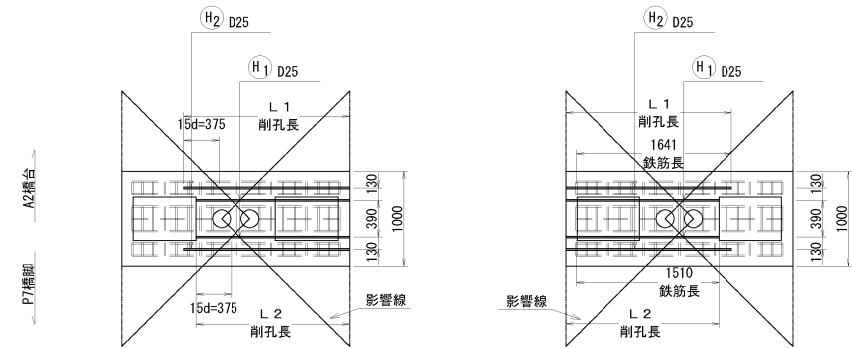
注記）
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
2. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. アンカー削孔前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋を避けて施工すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 7 橋脚 橋座補強工 詳細図		
縮 尺	1：80	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

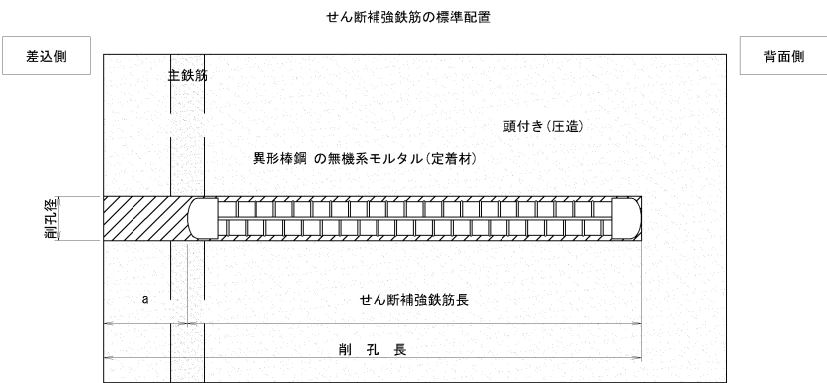
設計水平地震力	890 kN
補強前橋座部耐力	639 kN
不足耐力	251 kN



平面図（参考図）



標準断面図（参考図）



鉄筋表

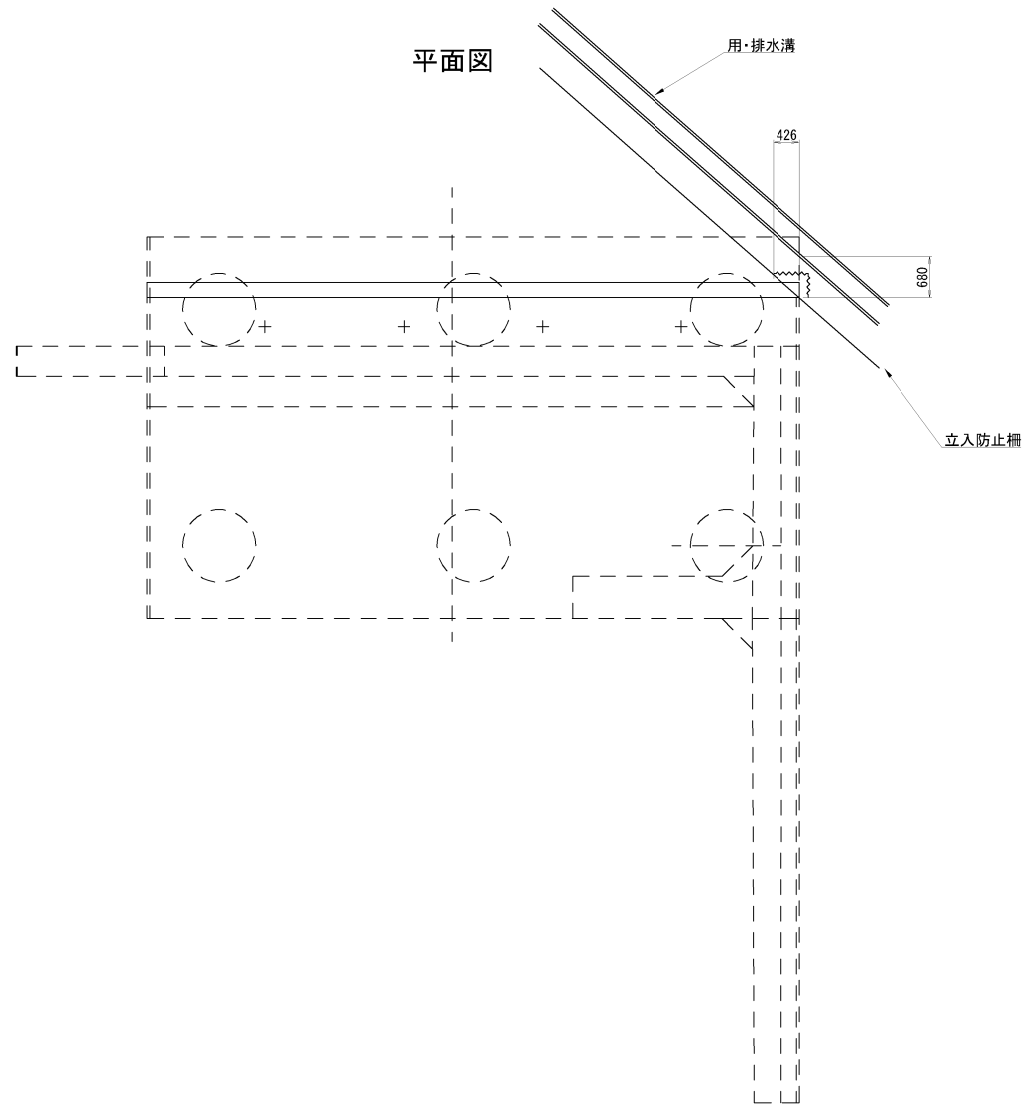
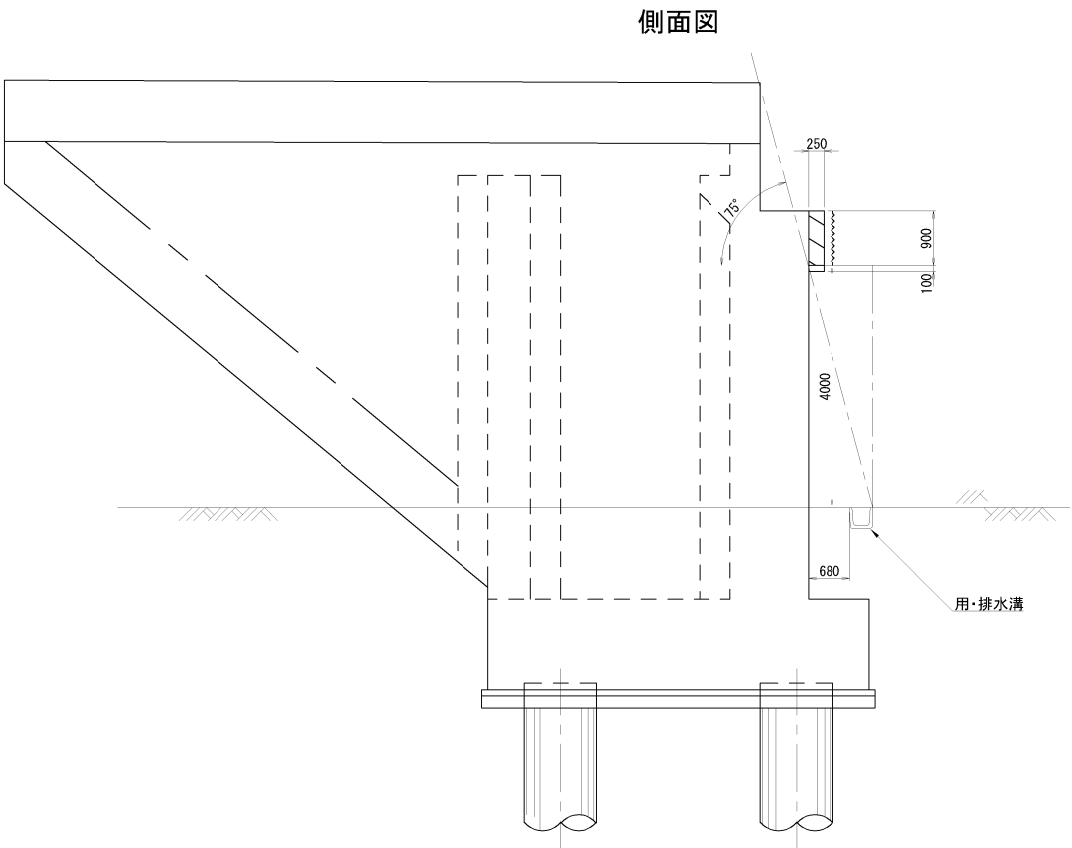
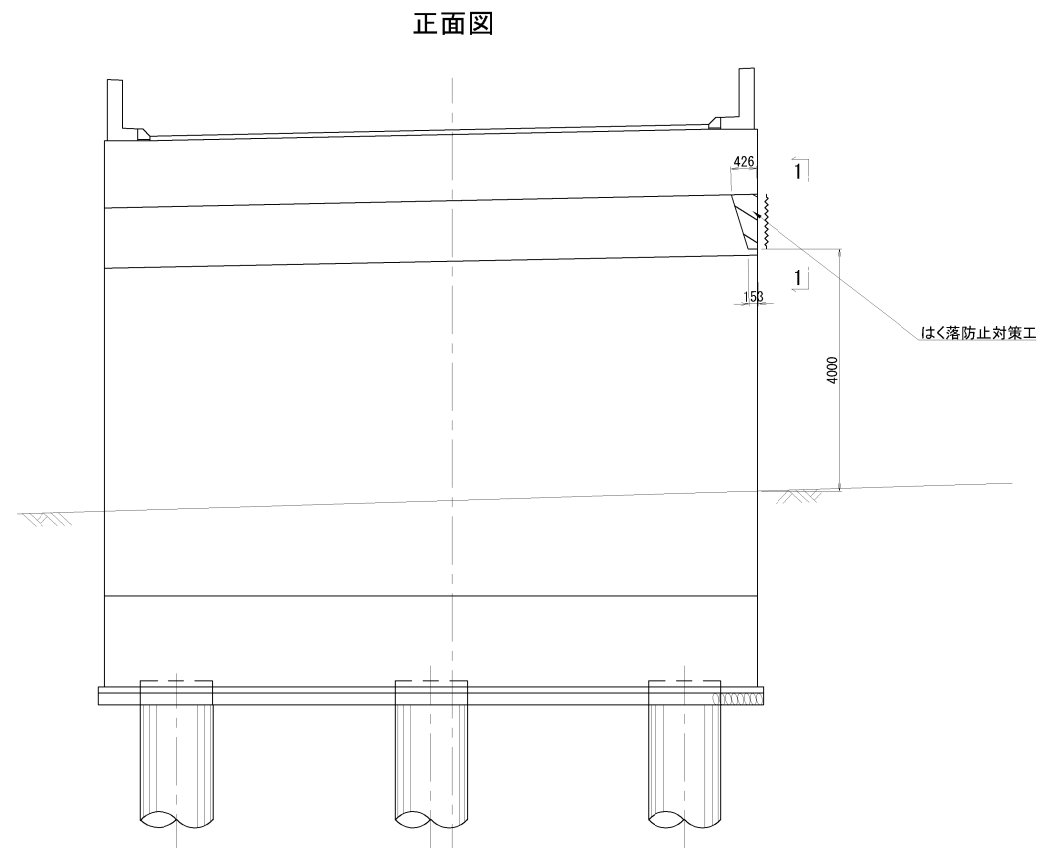
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D25	1510	4	3.98	6.00	24	→←
H 2	D25	1650	4	3.98	6.57	26	→←
D25						50	kg
合計						50	kg

※差込側からせん断補強鉄筋の後端までの距離（図中のa）は、差込側の主鉄筋の中心と同じとする。

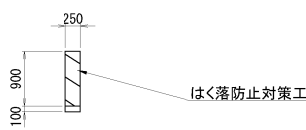
削孔長寸法表 (mm)	
L 1	L 2
1,751	1,620

注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
2. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工すること。

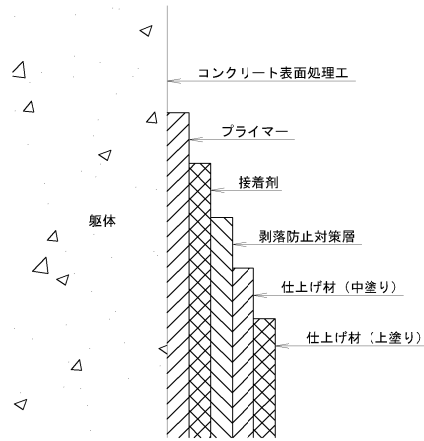
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） P 8橋脚 橋座補強工 詳細図		
縮 尺	1:80	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



断面図
1 - 1



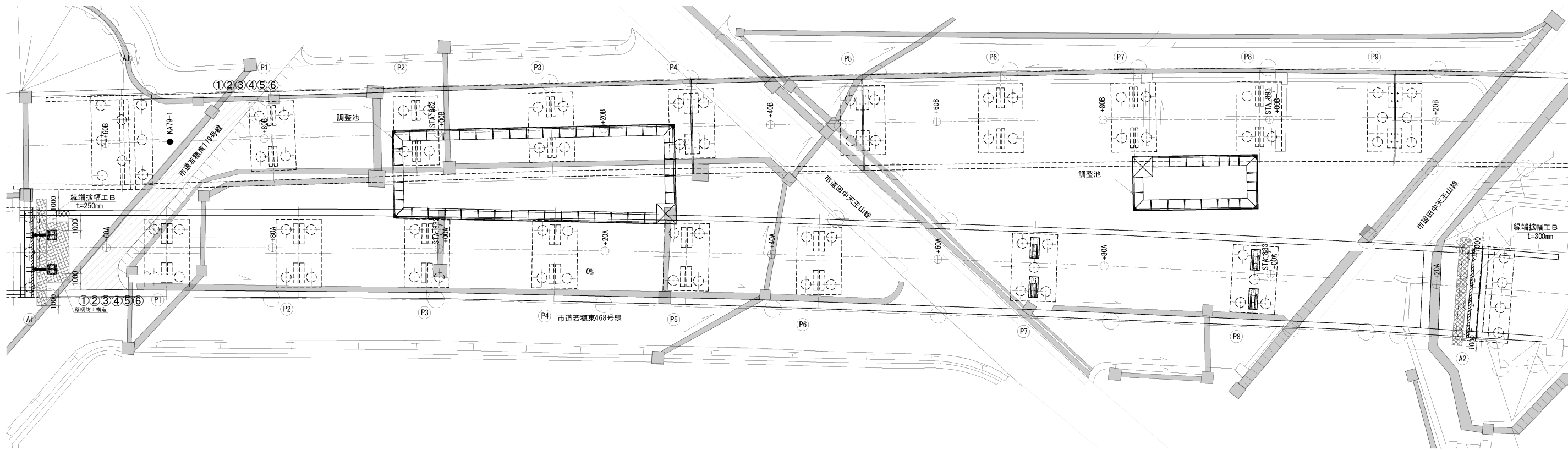
はく落防止対策工 標準図



注記)
1. 対策範囲については、現地調査を行い、
監督員との協議の上決定すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） A 1 橋台 はく落防止対策工 B 1 一般図		
縮 尺	1:125	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

平面図 S=1:500



保安施設設置一覧

記号	保安施設
①	矢印板
②	規制標識
③	工事情報看板
④	工事説明看板
⑤	迂回路標示板
⑥	通行止め看板

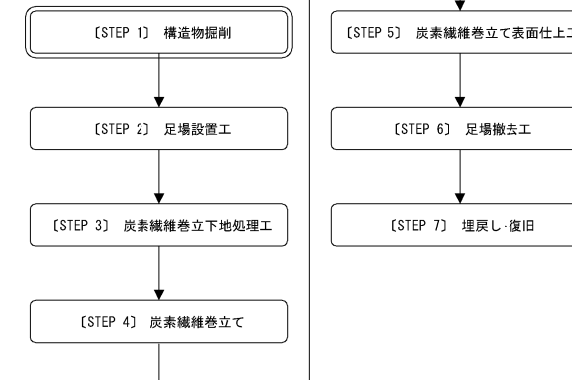
- 注記)
- 市道若穂東179号線を通行止めとする。
 - 保安施設等の位置及び設置間隔、保安施設の設置内容等は当該警察署と協議し決定することとする。

通行止め箇所

- 注記)
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 - 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） 通行止め計画図（参考図）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面图 S=1:500



上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	春山高架梁(上り線) 施工要綱(その１) (参考図)		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

春山高架橋（上り線） 施工要領図（その2）（参考図）
炭素繊維巻立て・橋座補強工

側面図 S=1:500

平面図 S=1:500

正面図 S=1:400

炭素繊維巻立て工 施工フロー

橋座補強工 施工フロー

注記
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） 施工要領図（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

春山高架橋（上り線） 施工要領図（その3）（参考図）
縁端拡幅工B・落橋防止構造

側面図 S=1:500

平面図 S=1:500

正面図 S=1:400

縁端拡幅工B 施工フロー

落橋防止構造 施工フロー

注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	春山高架橋（上り線） 施工要領図（その3）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

春山高架橋（上り線）配線系統図（参考図）

131.5KP~132.2KP

